NEC

PC98-NX

インターネットガイド

インターネットとは

インターネットを体験する

ホームページを見る

電子メールを使う

電話やFAXを使う

PC98-NX SERIES

LaVie NX

マニュアルの主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。

●『入門ガイド』（LaVieの一太郎モデルとWordモデルのみ）

Windowsやワープロの基本操作を解説した、入門者向けのマニュアルです。

- **NXパッドの基本操作**
- **ワープロ入門（一太郎／Word）**
- **デスクトップとは**
- **ファイルの使い方**
- **添付アプリケーションの紹介**

●『インターネットガイド』（LaVieのみ）

インターネットに接続する方法、パソコンを電話やFAXの代わりに使う方法などを説明しています。

- **インターネットとは**
- **インターネットを体験する**
- **ホームページを見る**
- **電子メールを使う**
- **電話やFAXを使う**

●『活用ガイド』

このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- **キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い**
- **周辺機器の接続と利用方法**
- **システム設定について**
- **添付アプリケーションの削除と追加**
- **Windows NT 4.0を利用する場合の設定**

●『困ったときのQ&A』

さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。

- **トラブル解決Q&A**
- **再セットアップするには**

はじめに

このマニュアルは、インターネットへの接続をはじめとして、パソコンの通信機能を利用するソフトウェアについて説明するものです。

まだインターネットを利用した経験がない方でも、今すぐインターネットに接続して、世界中のさまざまな情報を手に入れることができるよう配慮されています。また、すでにインターネットを利用されている方の場合、このパソコンでインターネットにアクセスできるようにするための設定方法も説明されています。

このマニュアルをよく読んで、パソコンの機動力を生かしてください。

1998年7月　初版

対象機種

LW26、LW23、LW20、LB20

808-883267-049-A

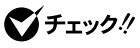
このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

⚠警告	注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
⚠注意	注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。
	注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

一太郎モデル	一太郎8 、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。
【 】	**【 】**で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system(日本語版)
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
一太郎Office8	一太郎Office8 /R.3 with パワーアップキット
一太郎、一太郎8	一太郎8 Office Edition /R.2U
Excel、Word、Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows® Microsoft® Outlook™98 for Windows®
インターネットエクスプローラまたはInternet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

◆このマニュアルで使用している画面

・このマニュアルに記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

・このマニュアルに記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本文中に使用しているホームページは実際にご覧になるものと異なる場合があります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

> 国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMドライブ搭載モデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisync、モバイルメールを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件適応一覧」をお読みください)。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「一太郎」、「ATOK」、「FullBand」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Office8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。
商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。
「BIGLOBE Walker」は、日本電気株式会社の登録商標です。
「BIGLOBEサインアップナビ」は、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項
本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

目　次

PART 1 インターネットとは 1
- インターネットでできること 2
- インターネットするには 6

PART 2 インターネットを体験する 11
- 電話回線との接続 12
- インターネットに接続する 14
- もういちどインターネットに接続する 26
- 「インターネット無料体験」期間が終了したら 29
- プロバイダとの契約 30

PART 3 BIGLOBEに入会する 33
- 入会の準備をする 34
- 入会手続きをはじめる 36
- パスワードについて 55

PART 4 ホームページを見る 59
- インターネットエクスプローラを使う 60
- 電話回線の接続状態を知る 70
- 「翻訳アダプタII CROSSROAD」を使う 72
- ジェットサーファーを使う 76
- インターネットアクセスマネージャを使う 79
- BIGLOBE Walkerを使う 81

PART 5 電子メールを使う 85
- 電子メールを始める 86
- 接続の設定 88
- 電子メールの送信と受信 91
- 受け取った電子メールを読む 95
- 電子メールを書く 98
- 返信の電子メールを送る 101

PART 6 すでにプロバイダと契約済みの方へ 103
設定を始める準備 104
インターネット接続の設定 108

PART 7 外出先でインターネットを使う 121
外出時に必要な設定 122
新しい発信元を設定する 123
違うアクセスポイントを設定する 125
発信元を変更する 133
アクセスポイントを変更する 135
外出先で電話回線につなぐ 140

PART 8 TELFAX-NX 143
電話やFAXができる 144
電話として使う 148
FAXの送受信をテストする 151
FAXとして使う 161
FAX情報サービスを利用する 166
TELFAX-NXご利用上の注意 169

索　引 173

PART

1

インターネットとは

インターネットは、あなたのパソコンを世界中のコンピュータにつないで情報をやり取りするしくみです。このパソコンには、インターネットを活用するために必要なアプリケーションが入っているので、電話回線を使ってインターネットに接続することができます。
まず、実際にインターネットをはじめる前に、インターネットで何ができるのかを少しだけ知っておきましょう。

このPARTの内容

インターネットでできること
インターネットするには

インターネットでできること

インターネットは、あなたのパソコンを世界中のコンピュータとつないでくれます。机の前にいながらにして、世界中の情報を手に入れることもできれば、あなたの情報を世界中に発信することもできるのです。

インターネットの利用法

インターネットでできることはたくさんありますが、ここでは代表的なインターネットの利用方法を紹介します。

◎ 世界中のホームページを見る

インターネットを利用すると、日本国内はもちろん、世界中の公共機関、企業、教育機関、各種団体、個人が提供するさまざまな情報を入手することができます。インターネットには、文字、画像（静止画・動画）、音声などの情報をやりとりする機能が備わっており、インターネットの大きな魅力となっています。

用語 ホームページ

ホームページはインターネットの情報発信地です。世界中に何百万という数のホームページがあります。文字だけでなく、写真やアニメーションなどの画像を使って、雑誌や新聞のような感覚で読むことができます。

◎ 電子メールを送ったり受け取ったりする

ネットワークを通じて行うメッセージのやりとりのひとつが、電子メールです。インターネットを利用した電子メールでは、国境を越えてメッセージを送りあうことができます。相手が世界のどこにいても、インターネットがつながっているところなら、メッセージを送ることができます。ビジネスシーンでの活用もおおいに期待できるコミュニケーション手段です。

用語 電子メール

電子メールとは、あなたのパソコンから友人や仕事仲間、取引先などのコンピュータ宛に送る電子的な手紙のことです。いまでは、電子メール抜きでは仕事にならないほど、広く普及した新しい通信メディアです。

インターネットを疑似体験する

本機には「インターネットチュータ」というアプリケーションが添付されています。「インターネットチュータ」では、実際にインターネットに接続しないで、インターネットがどういうものかを疑似体験できます。ここでは、インターネット接続サービス料金や電話料金などはかかりません。
あらかじめ、本機に添付されている「アプリケーションCD-ROM」を用意してください。

チェック!! 別売のCD-ROMドライブをお使いになる場合は、次の手順に従って、CD-ROMドライブをQドライブに設定してから「インターネットチュータ」をはじめてください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の前の⊞をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックする

3 「設定」タブをクリックする

4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ」の▼をクリックして表示された一覧から、Qドライブを選ぶ
終了ドライブも自動的に更新されます。

5 「OK」ボタンをクリックし、さらに「OK」ボタンをクリックする

6 Windowsを再起動するかどうかを選ぶ画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動する

◎ インターネットチュータを始める

1 このパソコンに添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする

参照 CD-ROMをセットする→『活用ガイド』PART1の「CD-ROMドライブ」

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「インターネットツール」の「インターネットチュータ」をクリックする

インターネットエクスプローラが起動し、インターネットチュータの画面が表示されます。

◎ インターネットチュータの内容を見るには

◆ 興味のある項目を見るには
「目次」から見たい項目をクリックする

◆ 順番にインターネットチュータを見るには
「次のページへ」ボタンをクリックする

「目次」

「次のページへ」

このボタンをクリックすると画面をスクロールすることができます。

これはインターネットチュータのページ全体のイメージ図です。実際に表示されるのは図の一部分となります。

かくれて見えない部分は、画面をスクロールさせて表示してください。ポインタ(矢印)が手の形に変わるところをクリックすると、別のページにジャンプします。

用語 リンク

ポインタが手の形に変わるところは、他のページにつながる入り口のようなものです。これを「リンク」と呼びます。リンクされた画像や文字をクリックするとリンク先のページに移動します。

ポインタが手の形に変わるところをクリックすると次のようなページが表示されます。興味のある項目のボタンをクリックしてください。

◎ インターネットチュータを終了する

1 ×(閉じる)ボタンをクリックする

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブから取り出す

インターネットするには

ここではインターネットに本機をつなぐ方法と、その仕組みを簡単に知っておきましょう。

本機をインターネットにつなぐには

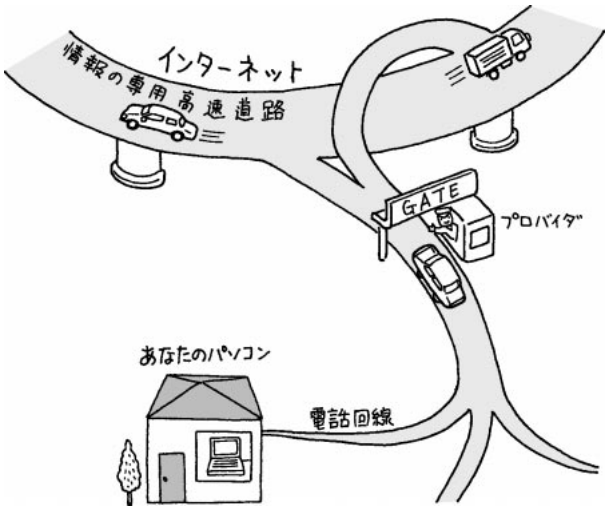
まず、あなたのパソコンを家庭用の電話回線に接続します。ふつうは、この電話回線をプロバイダという接続サービス会社に頼んでインターネットに接続してもらいます。高価な専用回線を引かない限り、あなたの電話回線をインターネットに直接つなぐことはできないからです。

参照 パソコンと電話回線の接続→PART2の「電話回線との接続」(p.12)

用語 プロバイダ

プロバイダとは、電話回線をインターネットに接続するサービスを提供しているところです。
インターネットを情報が行き来する専用の高速道路にたとえると、一般の道路(あなたのパソコン)と高速道路をつなぐインターチェンジにあたるのがプロバイダです。あなたのパソコンからこのインターチェンジを利用できるようにするには、まずプロバイダと契約する必要があります。

参照 プロバイダとの契約について→PART2の「プロバイダとの契約」(p.30)

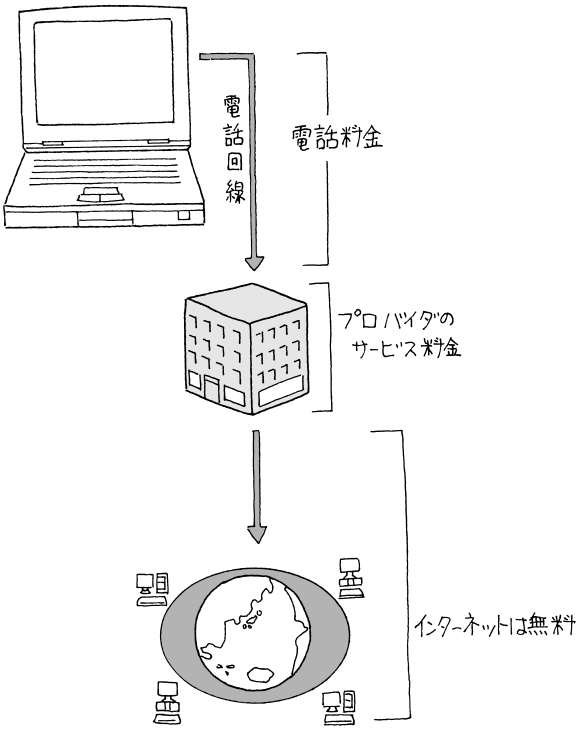


インターネットするとかかる料金

インターネットすると、プロバイダのインターネット接続サービス料金と、プロバイダまでの電話料金がかかります。ただし、インターネットそのものは無料です。ですから、接続サービス料金と電話料金は、海外と情報のやりとりをしても、国内の場合と同じです。インターネットをするためにかかる料金は、最寄りのプロバイダまでの電話料金と、プロバイダのインターネット接続サービス料金だけです。

◆ インターネットはだれのもの?

世界中のコンピュータをつなぐインターネットは、誰のものでもありません。特定の国や、企業や、団体や、個人が管理したり運営したりしているわけではありません。



チェック!! 特定のホームページでは有料で情報を提供していたり、商品を販売している場合があります。

通信機能使用上の注意

チェック!! ・本機では、データ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信、留守番電話機能、スピーカホン機能（ハンズフリー機能）の各機能が使えますが、これらの機能は添付のアプリケーション以外では動作しない場合があります。

・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみ対応しています。

・スピーカホン機能をご使用の際、回線の接続場所や状態により、内蔵スピーカからの音量が小さくなることがあります。このような場合は、ヘッドホンやイヤホンまたは外付けスピーカのご使用をおすすめします。またスピーカホン機能を使うときには、内蔵または外付けマイクロホンのご使用をおすすめします。

・スピーカホン通話中に相手側からの肉声以外の音（保留音など）が入ると、スピーカからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。

・加入電話回線が「トーン」（プッシュ回線）か「パルス」（ダイヤル回線）かわからないときは、NTTに確認してください。

・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあります。

・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通話中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れてしまいます。

・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。

・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。

・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。

・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。

・通常に電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合には、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工事担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

・内蔵FAXモデムボードの機能を設定したり、特定の動作をさせるには、下記のREADMEファイルをご覧ください。

C:¥WINDOWS¥ATCREAD.DOC

PART

2

インターネットを体験する

このパソコンでは、インターネットやパソコン通信、電話、FAXの送受信などのマルチメディア通信をすることができます。ここでは、このパソコンを電話回線に接続して、実際にインターネットを体験してみましょう。このパソコンには、プロバイダと契約していなくても、一定期間インターネットを楽しむことができるアプリケーションが入っています。

このPARTの内容

電話回線との接続
インターネットに接続する
もういちどインターネットに接続する
「インターネット無料体験」期間が終了したら
プロバイダとの契約

電話回線との接続

パソコンの電源が入っている場合には、安全のために電源を切ってください。電話回線との接続は、モジュラーケーブルの接続だけです。

モジュラーケーブルをつなぐ

◎ 接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能 な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、使用する電話回線の種類を確認してください。

- **モジュラージャック式**
  本機に付属のモジュラーケーブルで接続できます。
- **3ピンプラグ式コンセント**
  市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。
- **直結式配線方式**
  モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

チェック!! **内蔵のFAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設定されています。加入電話回線以外と接続すると、動作しなかったり、内蔵FAXモデムボードやパソコン本体などを破損するおそれがあります。**

チェック!! **電話回線には、「トーン」(プッシュ回線)と「パルス」(ダイヤル回線)があります。使用する電話回線の種別を、あらかじめ確認しておいてください。なお、電話機がプッシュボタン式でも回線がプッシュ(トーン)とは限りませんのでご注意ください。**

ダイヤル方法がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

◆ 確認の方法

- NTTの電話料金の請求書／領収書に「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーン」、なければ「パルス」です。
- 電話機の受話器をあげて、ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がすれば「トーン」です。

◎ 電話回線を接続する

⚠警告

感電注意

●雷が鳴り出したら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

⚠注意

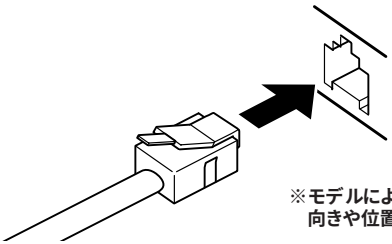
感電注意

●モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

1 本機の電源を切って、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、本機からACアダプタを取り外す

2 電話機のモジュラーケーブルをモジュラーコンセントなどから取り外す

3 本機のモジュラーコネクタのカバーを開け、付属のモジュラーケーブルの一方を本機のモジュラーコネクタに接続する



※モデルによってモジュラーコネクタの向きや位置がちがいます。

参照 接続の方法について詳しくは→『活用ガイド』PART1の「内蔵モデム」

4 モジュラーケーブルのもう一方をモジュラーコンセントなどに接続する

5 ACアダプタを本機に接続し、電源コードをACコンセントにつないでから本機の電源を入れる

インターネットに接続する

**このパソコンには、プロバイダと契約していなくても一定時間インターネットを楽しむことができる体験アプリケーションが入っています。
このアプリケーションソフトを使って、インターネットの世界を実際に体験してください。**

「インターネット無料体験」について

「インターネット無料体験」でインターネット体験できるのは合計5時間です。5時間を超えない範囲であれば、何回でもインターネットできますが、合計5時間を過ぎると体験サービスを受けられなくなります。
また、インターネット体験中は、プロバイダの利用料金は無料ですが、電話料金の費用はかかります。

チェック!! **「インターネット無料体験」では、電子メールの送受信はできません。電子メールを利用したい方や、継続してインターネットを利用したい方は、BIGLOBEなどのプロバイダとの契約が必要になります。**

参照 **・プロバイダ→ PART1の「インターネットするには」(p.6)**

・BIGLOBEの入会手続きについて→PART3の「BIGLOBEに入会する」(p.33)

インターネット体験する前に

1 インターネットに接続する前に、電話回線の接続を確認する

チェック!! **本体側面のモジュラーコネクタと、モジュラーコンセントの接続部分(電話回線)とが、本機に添付のモジュラーケーブルで正しく接続されているか、確認してください。**

参照 **電話回線との接続について→ このPARTの「電話回線との接続」(p.12)**

2 本機の電源が切れている場合は電源を入れて、Windowsを起動する

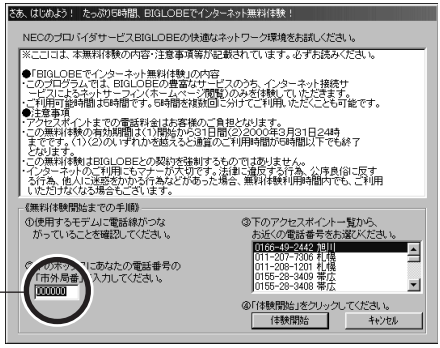
「インターネット無料体験」を起動する

1 デスクトップの「インターネット無料体験」アイコンをダブルクリックする

＊本画面は、一太郎モデルのものです。

「インターネット無料体験」が起動します。

2 「市外局番」の欄に表示されている文字をすべて消し、本機を使う場所の市外局番を入力する



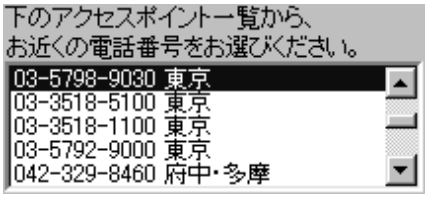
文字をすべて消して、本機を使う場所の市外局番を入力する

チェック!! この画面は、初めて「インターネット無料体験」を起動したときだけ表示されます。

参照 2回目以降に「インターネット無料体験」を起動したとき→ このPARTの「もういちどインターネットに接続する」(p.26)

3 「アクセスポイント一覧」の中から、アクセスポイントをひとつ選んでクリックする

手順2で入力した市外局番から判断して近くにあるアクセスポイントが自動的に表示されます。その中から選ぶと良いでしょう。



同じ都市名で2つ以上の電話番号が表示されている場合は、どれかひとつを選んでクリックしてください。どれを選んでもかまいません。

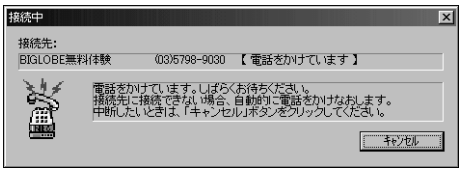
用語 アクセスポイント

アクセスポイントは、一般の電話回線に対して開かれたインターネットへの入り口です。インターネットに接続するには、あなたのパソコンからアクセスポイントに電話をかける必要があります。

チェック!! 「インターネット無料体験」では、インターネット接続サービス料金はかかりませんが、アクセスポイントまでの電話料金がかかります。電話料金を少しでも安くするために、なるべく近くにあるアクセスポイントを選んでください。

4 「体験開始」ボタンをクリックする

次のような画面が表示されて、本機が自動的にアクセスポイントに電話をかけます。そのまましばらく（数十秒）何も操作せずに待っていてください。



接続先が通話中の場合、本機が自動的に電話をかけ直します。つながるまでしばらくお待ちください。

5 **「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示され、「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のホームページが開かれたら、画面の右下に が表示されていることを確認する**

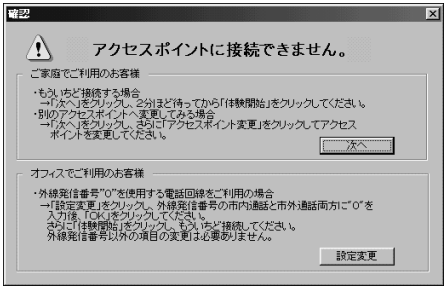
チェック!! 画面の右下に が表示されているときにはインターネットに接続されているので、電話料金がかかっています。

次にp.20の「ホームページを楽しむ」に進んでください。

◎ こんなときには

◆「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のページが表示されない場合

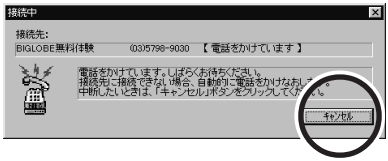
次のような画面が表示された場合、アクセスポイントの電話が混み合っている（通話中）ことが考えられます。「次へ」ボタンをクリックしてそのまま数分待ってから、「体験開始」をクリックしてください。



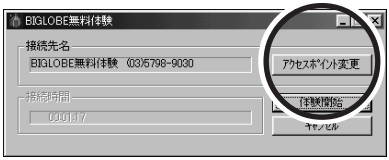
◆ アクセスポイントを間違って設定してしまった場合

p.16の手順3で、遠くのアクセスポイントなどにまちがって設定してしまった場合には、次の方法でアクセスポイントを設定し直すことができます。

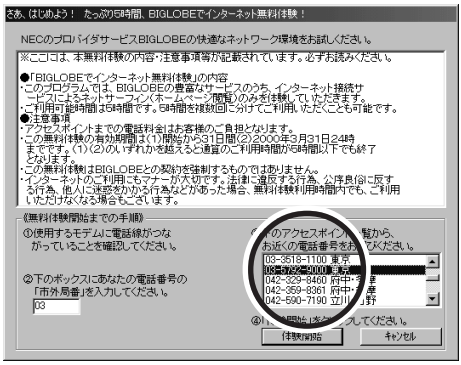
1 「接続中」ウィンドウで「キャンセル」ボタンをクリックする



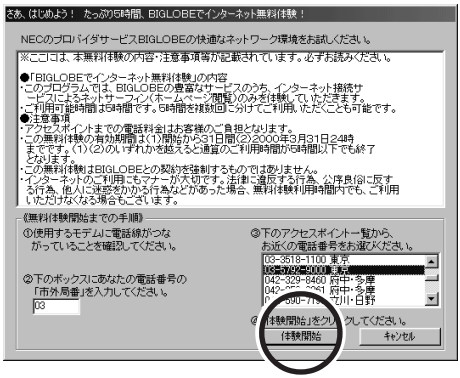
2 「アクセスポイント変更」ボタンをクリックする



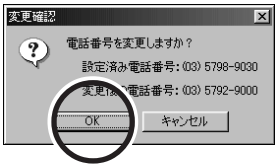
3 「アクセスポイント一覧」の中から、正しいアクセスポイントを選んでクリックする



4 「体験開始」ボタンをクリックする



5 「OK」ボタンをクリックする



「OK」ボタンをクリックすると、新しいアクセスポイントへの接続を開始して、「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のページが開きます。

ホームページを楽しむ

パソコンがインターネットに接続されて、ホームページが表示されます。「インターネットエクスプローラ」というブラウザを使って、いろいろなホームページを見ていきます。

用語 ブラウザ

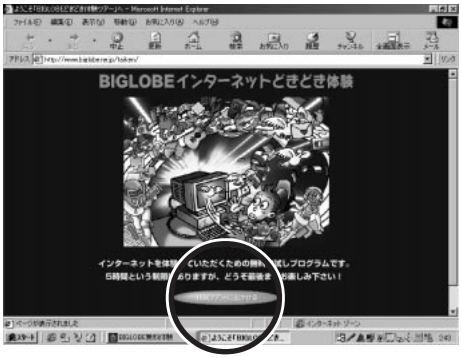
ホームページを見るためのアプリケーションのことをブラウザといいます。

これは、「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のホームページです。さまざまな楽しいページが用意されています。

◎ 他のページを楽しむ

1 画面上の「体験ツアーに出かける」に矢印（マウスポインタ）を合わせ、矢印（マウスポインタ）が手の形に変わったらクリックする

クリックしなくてもしばらくすると、自動的に手順2の画面に変わります。



2 好きなコースにマウスポインタを合わせてクリックする

ここから先は自由に、面白そうなところをどんどんクリックしてみましょう。終了したいときはいつでも終了することができます。

チェック!! 終了しないと、いつまでも電話料金がかかり続けてしまいます。

参照 終了する方法について→このPARTの「インターネットを終了する」(p.24)

◎「戻る」ボタンと「進む」ボタンの使い方

◆「戻る」ボタン

「戻る」ボタンを一回クリックするごとに、ひとつ前のページに戻ります。

◆「進む」ボタン

「戻る」ボタンをクリックするまでは灰色で表示されているので、クリックしても何も起きません。「戻る」ボタンで前のページを見た後、もう一度もとの画面に戻るためのボタンです。

「戻る」ボタンと「進む」ボタンを使って、それまでに見たページを行き来することができます。

◎「中止」ボタンの使い方

◆「中止」ボタン

ホームページを表示している途中で「中止」ボタンをクリックすると、ページの読み込みを中断することができます。電話回線やプロバイダの混み具合などによって、指定したホームページがなかなか表示されない場合は、「中止」ボタンをクリックして、別のホームページを指定してみてください。

もう一度同じページを読み直す場合は、「中止」ボタンのとなりの「更新」ボタンをクリックします。

◎「BIGLOBE」の主なコンテンツ

ニュース、天気予報からゲーム、ショッピングまで、多彩なコンテンツ(内容)がそろっています。知りたい・見たい情報を、キーワードで検索することもできます。

◆ ビジネス関連

・検索エンジン
NETPLAZA(http://netplaza.biglobe.ne.jp/)
・ニュース
読売COLiNS(http://pnews.cplaza.ne.jp/)
・天気予報
サイバーウェザーワールド(http://www.wni.co.jp/cww/index.html)
・データベース
BIGLOBEデータベースサービス(http://index.biglobe.ne.jp/)

◆ 趣味

・プレゼント・懸賞
まる得ページ(http://netplaza.biglobe.ne.jp/toku/)
・旅行
旅Web　電脳旅行社(http://www3.meshnet.or.jp/travel/index.htm)
・ソフトウエア
SoftPlaza(http://softplaza.biglobe.ne.jp/)
・ゲーム
宝島城(http://game.cplaza.ne.jp/)
・インターネットカラオケ
カラオケキング(http://www.musicnetwork.co.jp/karaking/biglobe/)
・趣味
NET of C&A(http://chage-aska.cplaza.ne.jp/)
TWO-PHOTOGRAPHY(http://two.cplaza.ne.jp/)
Gallop ONLINE(http://gallop.cplaza.ne.jp/)
・ショッピング
ショッピングワールドWebShop(http://shopping.biglobe.ne.jp/)
・パソコン
98Information(http://www.nec.co.jp/98/)

◎ 電子掲示板、チャットについて

ホームページのなかには、見たり読んだりするだけでなく、伝言などを書き込んだり、ほかのパソコンユーザーとホームページ上で会話したりできるところもあります。

Hanako-NET(http://hanakonet.biglobe.ne.jp/)
クリエイティブファーム(http://www.cplaza.ne.jp/cfarm/)

チェック!! **「http://www...」などで始まる文を、URL(Uniform Resource Locator)と呼びます。URLは、インターネット上にあるホームページの所在地を表しています。**

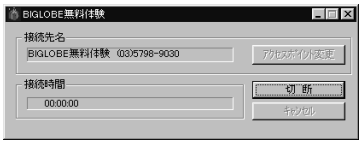
参照 **URLについて→PART4の「見たいホームページを指定する」(p.67)**

インターネットを終了する

1 ×（閉じる）ボタンをクリックする

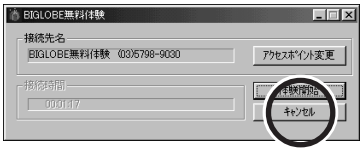
※ ホームページの内容は随時更新されていますので、実際の画面と異なることがあります。

インターネットエクスプローラのウィンドウが閉じて、下の画面が表示されます。



「切断」ボタンが「体験開始」に変わるまで、しばらく待ってください。

2 「キャンセル」ボタンをクリックする



これで電話回線が切断されました。ここから先は、電話料金はかかりません。

3 「終了」ボタンをクリックする

ここで「入会手続きを開始する」ボタンをクリックすると、BIGLOBEサインアップナビが呼び出され、そのままBIGLOBE入会手続きを行うことができます。

参照 BIGLOBEの入会手続きについて→PART3の「BIGLOBEに入会する」

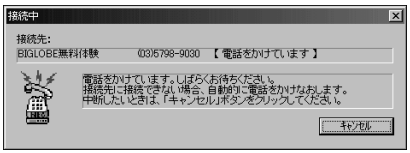
もういちどインターネットに接続する

もういちどインターネットを体験してみましょう。2回目以降なら、すぐにインターネットに接続することができます。

インターネットに接続する

1 デスクトップの「インターネット無料体験」アイコンをダブルクリックする

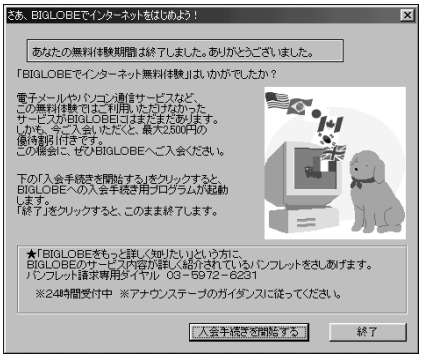
パソコンがすでに設定済みのアクセスポイントに電話をかけて、インターネットにつながります。



「接続先」には、p.16で設定したアクセスポイントが表示されています。

参照 アクセスポイントを変更する場合→このPARTの「アクセスポイントを間違って設定してしまった場合」(p.18)

チェック!! **次のような画面が表示された場合は、すでに「無料体験」サービスは終了しています。**

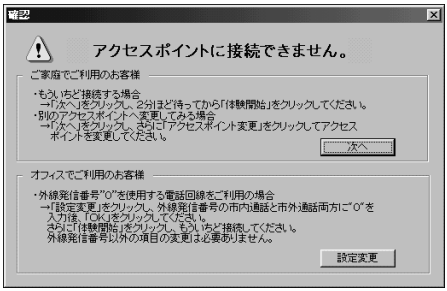


参照 **無料体験が終了したら→このPARTの「「インターネット無料体験」期間が終了したら」(p.29)**

2 インターネットエクスプローラが起動し、「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のホームページが開かれるのを確認する

ここから電話料金がかかります。

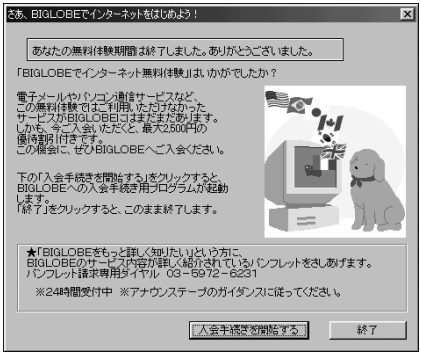
チェック!! **次のような画面が表示されたときは、「こんなときには」の「「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のページが表示されない場合」（p.17）を参照してください。**



「インターネット無料体験」期間が終了したら

インターネットを無料体験できるのは合計5時間です。また、体験期間は体験を開始した日から31日間です。これを過ぎると、「インターネット無料体験」を起動してもインターネットできません。

インターネット無料体験の期間が終了した後は、「インターネット無料体験」をダブルクリックすると、次のような画面が表示されます。



1 「終了」ボタンをクリックする

ここでは「終了」ボタンをクリックして、いったん終了します。引き続きインターネットするためには、プロバイダとの契約が必要です。

ここで「入会手続きを開始する」ボタンをクリックすると、BIGLOBEサインアップナビが呼び出され、そのままBIGLOBEの入会手続きを行うことが出来ます。

参照 BIGLOBEの入会手続きについて→PART3の「BIGLOBEに入会する」

プロバイダとの契約

インターネットへ接続するには、プロバイダと呼ばれるインターネット接続サービスを行う会社と契約しなければなりません。プロバイダとの契約が済んだら、このパソコンにあなたがプロバイダを利用するためのユーザ情報を設定します。

プロバイダと契約する

国内には、インターネット接続サービスを行うプロバイダがたくさんあります。地域密着型で小規模のプロバイダから、日本全国や世界各国にアクセスポイントを持つ大規模なものまでさまざまです。NECも「BIGLOBE（ビッグローブ）」というプロバイダを運営しています。インターネットをどのように楽しむかで、あなたにぴったりのプロバイダを選んでください。

用語 BIGLOBE

NEC が運営するプロバイダで、国内最大級のアクセスポイント数*があります。本機には「BIGLOBEサインアップナビ」というパソコンと電話回線を使ってBIGLOBEに入会するためのソフトが入っています。パソコンと電話回線を使ってBIGLOBEに入会すると、入会したその日からインターネットを楽しむことができます。

* 日本国内に、インターネットでは122都市、パソコン通信では198都市のアクセスポイントがあります。また世界146ヶ国からの接続が可能なサービスも行っています（1998年6月現在）。

BIGLOBEのサービス内容や利用料金については、添付の「BIGLOBE おいでまシート」をご覧ください。

◆ プロバイダ選びのポイント

1. 利用料金とサービス内容
2. 電話回線のつながりやすさ
3. プロバイダの接続設備（アクセスポイント）までの電話料金

電話回線を使ってインターネットをする場合、あなたのパソコンからアクセスポイントまでの電話代がかかります。プロバイダの利用料金がどんなに安くても、アクセスポイントが遠い場合には、電話代が多くかかります。

参照 アクセスポイント→p.16「アクセスポイント」

契約するプロバイダが決まったら、契約を済ませ、このパソコンの設定をしてインターネットに接続します。
契約から設定・接続までを考えるといくつかのパターンに分けられます。あてはまるパターンを選んで先に進んでください。

◎ パターン1 BIGLOBEにオンラインサインアップで入会する場合

PART3の「BIGLOBEに入会する」をご覧ください。このパソコンを電話回線で接続して入会手続きを行います。電話回線を使った入会手続きをオンラインサインアップといいます。手続きをすればすぐにインターネットを利用することができるように、このパソコンにユーザ情報が自動的に設定されます。利用料金の決済にはクレジットカードを使います。

◆ パソコンから電話回線を利用してBIGLOBEに入会できる方

・18歳以上の方
・本人名義のクレジットカードでBIGLOBE利用料金を決済できる方
・BIGLOBEサービス会員規約に同意される方
以上の3つの条件を満たしている方

◎ パターン2 BIGLOBEへ申込書類を郵送して入会する場合

このパソコンに添付の「BIGLOBEおいでまシート」をご覧になり、郵送で手続きを済ませてから、PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」をご覧ください。

◎ パターン3 BIGLOBEに銀行口座振替で入金する場合

次の資料請求窓口に、電話で、銀行口座振替で支払いができる「BIGLOBE契約申込書」の添付されている「入会案内BIGLOBEパンフレット」を請求してください。

資料請求窓口
tel：03-5972-6231
24時間受付中です。アナウンステープのガイダンスに従ってください。

銀行口座振替で入会した場合、割引特典は適用されません。また、口座振替手数料200円／月（税別）が必要になります。

◎ パターン4　BIGLOBE以外のプロバイダと契約する場合

契約するプロバイダに問い合わせてください。接続キット（CD-ROMなど）や詳しい説明書を用意しているプロバイダもあります。

◎ パターン5　すでにインターネットを利用していた場合

すでにプロバイダと契約し、インターネットを利用していた場合は、PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」をご覧ください。

PART

3

BIGLOBEに入会する

電話回線との接続が終わったら、インターネットに接続するためにBIGLOBE（ビッグローブ）に入会しましょう。このパソコンには、BIGLOBEサインアップナビというソフトが入っています。このソフトを使って、BIGLOBEに入会することができます。手続きが終われば、あなたのパソコンは、いつでもインターネットで世界とつながります。

このPARTの内容

入会の準備をする
入会手続きをはじめる
パスワードについて

入会の準備をする

本機と電話回線を使ってNECの運営するインターネットサービスプロバイダBIGLOBEに入会することができます。入会の手続きをするための準備をしましょう。

入会手続きを始める前に

チェック!! この方法で入会手続きができるのは、18歳以上で本人名義のクレジットカードをお持ちの方です。18歳未満の方は、本機に添付されている「BIGLOBEおいでまシート」をご覧になり、契約申込書を郵送してください。

◎ 必要なものを準備、確認する

1 電話回線のダイヤル方法を確認する

回線種別を確認したら、p.38の記入欄に印を付けてください。

チェック!! 電話回線には、「トーン」(プッシュ回線)と「パルス」(ダイヤル回線)があります。使用する電話回線の種別を、あらかじめ確認しておいてください。なお、電話機がプッシュボタン式でも回線がプッシュ(トーン)とは限りませんのでご注意ください。
ダイヤル方法がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

◆ 確認の方法

- NTTの電話料金の請求書／領収書に「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーン」、なければ「パルス」です。
- 電話機の受話器をあげて、ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がすれば「トーン」です。

2 クレジットカードを用意する

入会手続きの途中で、クレジットカードのカード番号を入力するところがあります。クレジットカードは、サービス利用料金の決済に使われます。なお、BIGLOBEへの入会手続きは無料です。

利用可能なクレジットカード

VISA　JCB　DC　UC　日本信販　MC（ミリオンカード）
AMEX（アメリカンエキスプレス）　ダイナース　オリエント
バンクカード　セゾンカード　その他のマスターカード

セゾンカードは「BIGLOBEおいでまシート」の「BIGLOBE契約申込書」で郵送する場合のみ利用可能です。電話回線を使っての入会はできません。

3 筆記用具を用意する

入会手続きの途中で、パソコンの画面情報をメモに書きとめるところがあります。

4 「BIGLOBE」の入会コースを決めておく

入会手続きの途中で、入会コースを選ぶところがあります。「BIGLOBEおいでまシート」をご覧になり、入会するコースを決めておいてください（コースを決めたらメモしておいてください）。

5 メールアカウントの希望を決めておく

入会手続きの途中でメールアカウントの希望を入力するところがあります。あらかじめ第1希望から第3希望まで決めておいてください（希望のメールアカウントは、メモしておいてください）。希望のメールアカウントがすでに誰かに割り当てられている場合は、そのメールアカウントでの登録はできません。

メールアカウントに使える文字は半角英小文字（「a」から「z」）と半角数字（「0」から「9」）とアンダーバー（「_」）とハイフン（「-」）で、合計3文字以上16文字以内です。

例 mita-ichirou　mitachan　i_3ta

用語 電子メールアドレス

電子メールアドレスはインターネットで電子メールを届けるための住所の役割をします。

用語 メールアカウント

メールアカウントは電子メールアドレスのうちで、あなた個人を特定するために必要な部分です。名字や名前などあなたのことがよく分かるメールアカウントがよいでしょう。

入会手続きをはじめる

パソコンと電話回線を使ってBIGLOBEに入会すると、入会したその日からインターネットやパソコン通信を楽しむことができます。

BIGLOBEサインアップナビを起動する

用語 サインアップ、オンラインサインアップ

入会や契約の手続きを、サインアップといいます。パソコンと電話回線を使ってサインアップすることをオンラインサインアップといいます。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIGLOBEツール」の「入会申込」をクリックする

インターネット無料体験の終了の画面で「入会手続きを開始する」をクリックしてもBIGLOBEサインアップナビを起動することができます。

参照 PART2の「インターネット無料体験期間」が終了したら」(p.29)

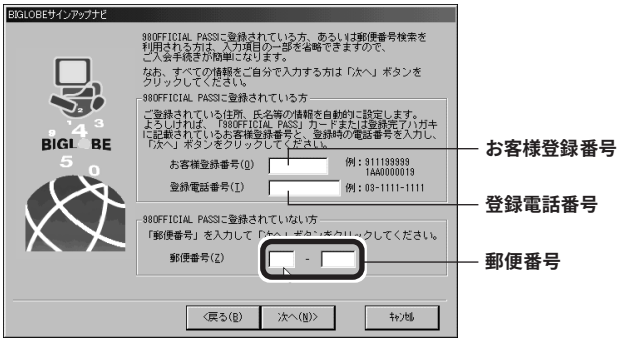
BIGLOBEサインアップナビが起動して、次の画面が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

郵便番号を入力する

1 自宅の「郵便番号」を入力する

「郵便番号」に、ご自宅の郵便番号を入力します（必ず7桁で入力してください）。



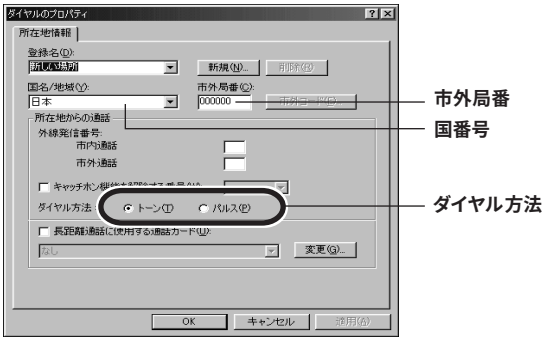
980FFICIAL　PASSへの登録を済まされている方は、ここで「980FFICIAL　PASS」カードまたは登録ハガキに記載されている「お客様登録番号」と「登録電話番号」を入力してください。p.43～p.45の手順で、980FFICIAL　PASSに登録されている情報が入力済みとなり、入力の手間を一部省略することができます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「ダイヤル設定変更」ボタンをクリックする

「所在地情報」を入力する

「ダイヤルのプロパティ」で、あなたがパソコンを接続する電話回線に関する情報を入力します。



1 「市外局番」に最初の0を除いた市外局番を入力する

（例） 東京（03）なら3のみを入力します。

2 「国番号」が日本（81）であることを確認する

3 「ダイヤル方法」を確認する

プッシュ回線のときは「トーン」、ダイヤル回線のときは「パルス」の○を◉にします。

□ トーン　　□ パルス

（p.34で確認した回線種別の方に印を付けてください。）

4 「OK」ボタンをクリックする

会社などで外線/内線の区別があるような場合以外は、「外線発信番号」の入力は必要ありません。

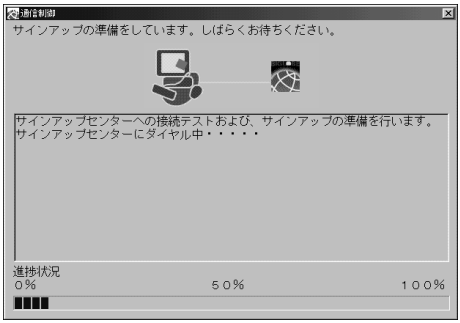
入力した情報をサインアップセンターに送る

1 「設定完了」ボタンをクリックする

設定を完了すると、自動的にパソコンがサインアップセンターに電話をかけます。サインアップセンターへの電話はフリーダイヤルですので、電話代はかかりません。

接続状況を表わす次の画面が表示されます。

電話がつながってからBIGLOBEに関する最新の資料が送られてくるまで、しばらく時間がかかります。



サインアップの準備が終わると次の画面が表示されます。パソコンとサインアップセンターの接続は自動的に切れます。

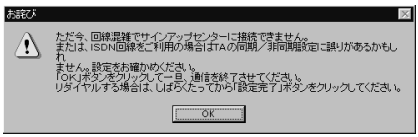
p.43の「住所候補一覧からあなたの住所を選ぶ」に進んでください。

◎ サインアップセンターにつながらないときは

サインアップセンターに電話がつながらない場合は、以下の例を参考にしてください。

◆「お詫び」画面が表示されたとき

「お詫び」の画面は、パソコンがかけた電話にセンターが応答しなかったときに表示されます。



1 「お詫び」画面の「OK」ボタンをクリックする

サインアップナビの画面に戻ります。
その後は以下の①～③のあてはまる場合に進んでください。

① センターが混み合っている（通話中となっている）場合

そのまま数分待ってください。その後で、「設定完了」ボタンをクリックします（→p.39）。パソコンは再びセンターに電話をかけ、入会手続きが続行されます。

② センターの電話番号をまちがって設定した場合

あらかじめ登録されている電話番号を変えてしまうと、センターに電話がつながりません。以下の方法で設定し直してください。

1 **▼をクリックして、表示された電話番号の正しい方をクリックする**

2 **「設定完了」ボタンをクリックする(→p.39)**

③ ダイヤル方法(トーンダイヤル/パルスダイヤルの設定)が正しくない場合

1 **「ダイヤル設定変更」ボタンをクリックする(→p.37)**

「所在地情報」画面が表示されます。

2 **「ダイヤル方法」を設定し直す(→p.38)**

◆「環境エラー」画面が表示されたとき

「環境エラー」の画面は、パソコンと電話回線が正しく接続されていないときに表示されます。

1 **「環境エラー」画面の「OK」ボタンをクリックする**

サインアップナビの画面に戻ります。

2 **「キャンセル」ボタンをクリックする**

3 **「申し込みを終了しますか?」の画面で「はい」ボタンをクリックする**

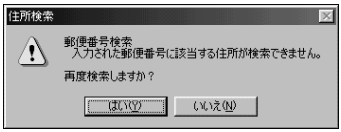
サインアップナビが終了します。

4 **Windowsを終了し、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いて、パソコンと電話回線を正しく接続し直して(→p.12)、その後「入会手続きをはじめる」(→p.36)の操作から始める**

◎「住所候補一覧」画面が表示されないとき

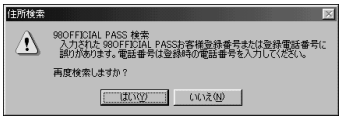
「住所候補一覧」画面が表示されないときは、以下の例を参考にしてください。

◆ 次の画面が表示されたとき



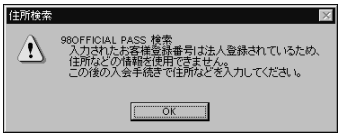
p.37の手順1で入力した郵便番号が間違っています。「はい」ボタンをクリックすると、p.37の手順1の画面に戻るので、正しい郵便番号を入力して操作をやり直してください。

◆ 次の画面が表示されたとき



p.37の手順1で入力した980FFICIAL PASSの情報が間違っています。「はい」ボタンをクリックすると、p.37の手順1の画面に戻るので、正しい980FFICIAL PASSの情報を入力して操作をやり直してください。

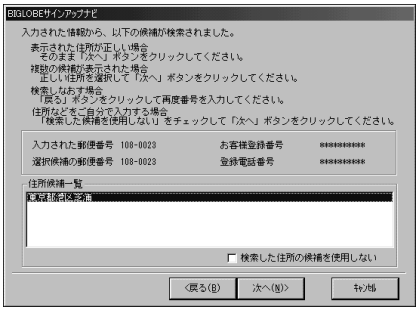
◆ 次の画面が表示されたとき



p.37で入力した980FFICIAL PASSの情報は法人登録なので、住所などの情報を使用できません。「OK」ボタンをクリックし、次の「「自宅住所」「氏名等」を入力する」に進んでください。

「住所候補一覧」からあなたの住所を選ぶ

「住所候補一覧」に、p.37で登録した郵便番号に対応する住所の一覧が表示されます。



1 「住所候補一覧」から自宅の住所に一番近いものを選んでクリックする

「住所候補一覧」には、郵便番号から特定できる部分だけが表示されます。ここで設定した住所の情報は、そのまま次のページ以降で設定する「自宅住所」の各項目欄に、自動的に入力されます。

候補がたくさんあって画面に表示されていない部分があるときは、▼や▲をクリックして、見えない部分を表示させてください。

チェック!! p.44の「自宅住所」に自動入力されるのは、郵便番号から特定できる部分だけです。丁目、番地、アパート名などの情報は入力されませんので、残りの部分はp.44の手順で入力する必要があります。手間を少なくするためには、なるべく実際の住所に近いものを選んでください。

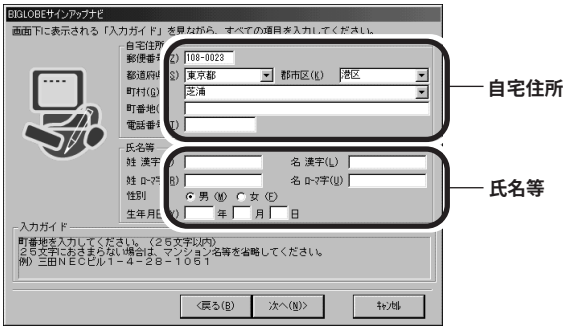
チェック!! p.37の手順1で入力した郵便番号が間違っていた場合、ここで正しい住所が表示されません。「戻る」ボタンをクリックすると、p.37の手順1の画面に戻るので、正しい郵便番号を入力して操作をやり直してください。

2 「次へ」ボタンをクリックする

「自宅住所」「氏名等」を入力する

ここで「自宅住所」「氏名等」を入力します。

チェック!! p.37で980FFICIAL PASSの情報を入力した場合、この画面のすべての欄は自動入力されています。表示された内容を確認して、p.45の手順1に進んでください。



入力欄を選ぶと「入力ガイド」に入力方法の説明が表示されます。全角/半角は入力項目に合わせて自動的に切り替わりますから、入力モードを気にする必要はありません。

1 「自宅住所」を入力する

上の画面例のように、p.37で設定した住所の情報が、各入力欄に自動的に入力されています。自動入力されている内容を確認し、誤りや不足がある場合はここで入力し直してください。

- 「都道府県」などは▼をクリックして選びます。表示されない場合には、全角で入力します。
- 「町村」が 町村(Q) になっているときには入力できませんので、「郡市区」以降の住所の情報は「町番地」に入力してください。
- 「町番地」は、番地の数字も含めて全角で入力します。
- 「電話番号」は、市外局番の頭の0から数字とハイフン(「-」)で入力します。

2 「氏名等」を入力する

「生年月日」は、西暦の場合は4桁で入力します。元号の場合、大正はT、昭和はS、平成はHを最初に付けて、数字2桁で入力します。

例えば、昭和8年6月3日生まれの場合は、それぞれS08、06、03と入力します。

3 入力した情報が正しいかを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

「クレジットカード」「コース選択」を入力する

BIGLOBEのサービス利用料金の決済に使用するクレジットカードの情報と、BIGLOBEで入会するコースを入力します。

1 「クレジットカード」の情報を入力する

BIGLOBEのサービス利用料金を決済するクレジットカードの情報を入力します。

カード番号と有効期限の入力方法は、カードの種類によって異なります。画面に表示される入力ガイドにしたがってください。

2 「コース名」の▼をクリックして入会コースを選ぶ

「BIGLOBEおいでまシート」を読んで決めておいたコースを選びます。おもにインターネットを楽しみたい方は、「ばりばり15コース」または「わいわいコース」をおすすめします。

左下の「コース選択ガイド」ボタンをクリックすると、それぞれの入会コースについての説明が表示されます。

利用状況に応じて入会後にコースを変更することができます。

3 入力した情報が正しいかを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

「情報誌購読」「メールアカウント」を入力する

1 「情報誌購読」を選ぶ

情報誌SAAI isaraを購読するかどうか選びます。画面の入力ガイドの説明をご覧ください。

ここで「しない」を選んでも、サインアップ後にあらためて 購読を申し込むことができます。

2 「インターネットメールのアカウント」を入力する

電子メールアドレスのアカウント名の希望を入力します。「入会手続きを始める前に」(p.34)で、あらかじめ決めておいたメールアカウントの希望を、入力ガイドにしたがって入力してください。
希望のアカウントがすでに別の人に割り当てられている場合があるので、第3希望まで入力してください。

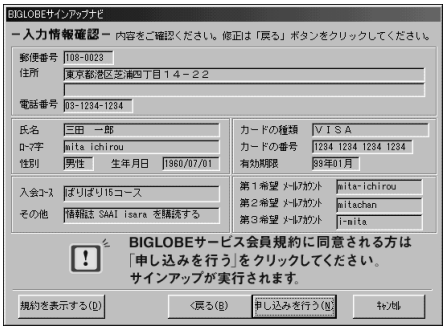
チェック!! 第1希望から第3希望のどのメールアカウントも、すでに別の人が登録してしまっている場合は、p.47でサインアップセンターに電話をかけたときにメッセージが表示され、この画面に戻ります。別のメールアカウントを考えて入力してください。

3 入力した情報が正しいかを確認し、「設定完了」ボタンをクリックする

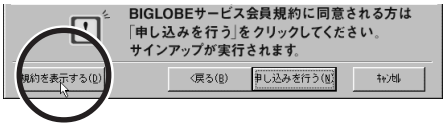
入力した情報をサインアップセンターに送る

1 入力情報を確認する

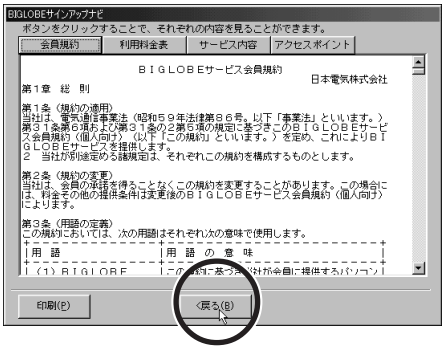
入力情報に間違いがあった場合は、「戻る」ボタンを何回かクリックして修正したい内容を入力する 画面まで戻り、やり直してください。



2 「規約を表示する」ボタンをクリックする

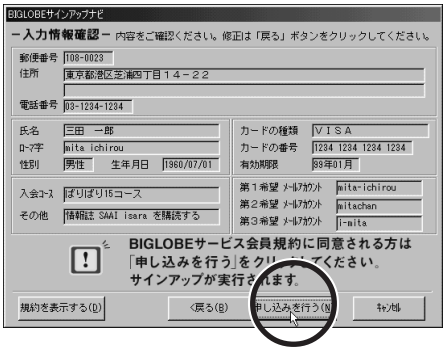


BIGLOBEの会員規約が表示されるので、規約の内容をご確認ください。



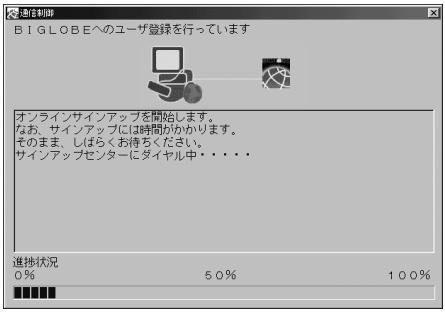
3 「戻る」ボタンをクリックする

4 「申し込みを行う」ボタンをクリックする



チェック!! 「申し込みを行う」ボタンをクリックすると、訂正できなくなります。

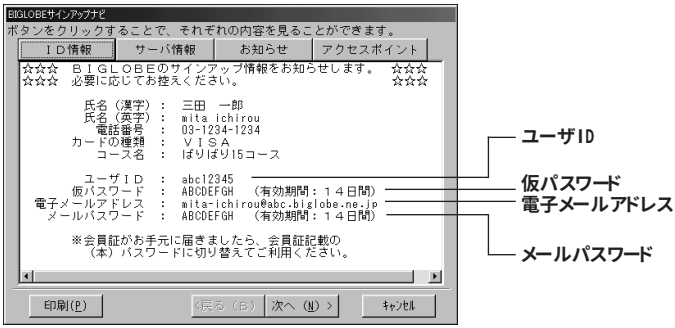
自動的にサインアップセンターに接続し、入力した個人情報が送られ、BIGLOBEへの入会手続きが行われます。BIGLOBEの入会手続きが終わるまでしばらく時間がかかります。入会手続きが終わるまで次のような画面が出ます。



入会手続きが終了すると入会内容を知らせる画面が表示されます。

「ID情報」を確認する

ここで「ID」情報を確認し、控えておいてください。



これは表示の一例です。

1 「ID情報」を確認し、下の空欄にメモする

チェック!! 大文字と小文字を区別して書いてください。文字はすべて半角です。下の記入欄を利用してください。

ユーザID

_____

仮パスワード

_____

電子メールアドレス

_____@_____.biglobe.ne.jp

メールパスワード

_____

プリンタが使用可能なら、「印刷」ボタンをクリックすると、それぞれの内容を印刷できます。

「サーバ情報」を確認する

ここで「サーバ情報」を確認し、控えておいてください。

1 「サーバ情報」ボタンをクリックする

「サーバ情報」が表示されます。

2 「サーバ情報」を確認し、下の空欄にメモする

これは表示の一例です。

チェック!! 大文字と小文字を区別して書いてください。文字はすべて半角です。下の記入欄を利用してください。

プライマリDNS

＿＿＿＿．＿＿＿＿．＿＿＿＿．＿＿＿＿

セカンダリDNS

＿＿＿＿．＿＿＿＿．＿＿＿＿．＿＿＿＿

インターネットメールサーバ

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **.biglobe.ne.jp**

ニュースサーバ

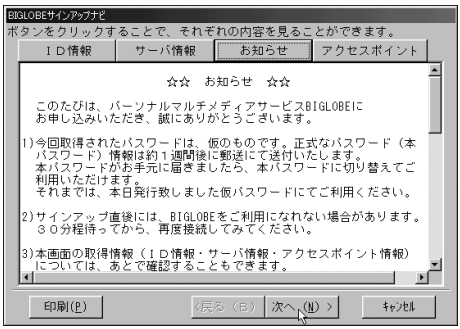
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **.biglobe.ne.jp**

表示内容を正しくメモしたか確認してください。

「お知らせ」を読む

1 「お知らせ」ボタンをクリックする

次の画面で「お知らせ」の内容をよく読んでください。

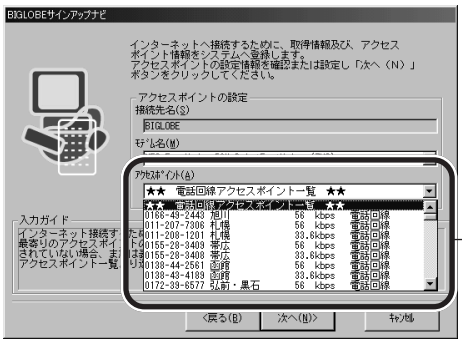


2 読み終えたら、「次へ」ボタンをクリックする

アクセスポイントを設定する

1 「アクセスポイント」を一覧から選んでクリックする

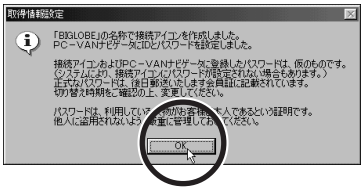
「アクセスポイント」の右の▼をクリックして、一覧から最寄りのアクセスポイントを選んでください。アクセスポイントは、なるべくご自分の電話の市外局番に近いものを選びます。ご自分の電話の市外局番と同じ局番のアクセスポイントがあればそれが自動的に設定されます。



一覧から最寄りのアクセスポイントを選ぶ

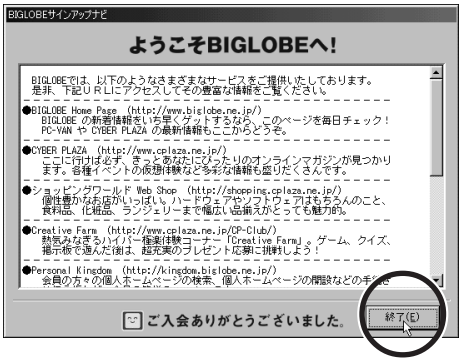
2 選んだアクセスポイントを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

3 「OK」ボタンをクリックする



4 「終了」ボタンをクリックする

BIGLOBEサインアップナビでBIGLOBEに入会した場合、正式なパスワードが記載された会員証が約1週間後に、サインアップの時に入力した住所あてに郵送されてきます。それまで仮パスワードでインターネットをすることができます。



入会手続きが終わって電話が切れてから30分くらいは、まだBIGLOBE側の設定が終わらないので、しばらく待ってからPART4をご覧ください。

◎ サインアップの途中で中断してしまったときは

サインアップを途中で中断してしまった場合、どの手順で中断したかによって対処のしかたが異なります。次の例を参考にしてください。

◆ サインアップの準備中にメッセージが表示されて中断したとき

p.39の手順1で、サインアップセンターにパソコンが電話をかけているときにメッセージが表示されて中断した場合は、最初からサインアップをやり直す必要があります。本機を再起動した後、p.36の手順1からやり直してください。

◆ 住所、氏名などの情報を入力中に、何らかの理由で中断したとき

情報の入力中(p.48の手順4より前の段階)に何らかの理由で中断した場合は、まだサインアップセンターに情報が送られていないので、最初からサインアップをやり直す必要があります。本機を再起動した後、p.36の手順1からやり直してください。

なお、それまでに入力した内容はすべてクリアされてしまうので、すべての項目を入力し直す必要があります。

◆ ユーザー登録中にメッセージが表示されて中断したとき

p.48の手順4で「申し込みを行う」ボタンをクリックした後、サインアップセンターにパソコンが電話をかけているときにメッセージが表示されて中断した場合も、最初からサインアップをやり直す必要があります。本機を再起動した後、p.36の手順1からやり直してください。

ただし、一部の情報はすでにサインアップセンターに送られている可能性がありますので、二重登録になってしまわないよう、「氏名等」(p.44手順2)、「クレジットカード」(p.45手順1)、「コース名」(p.45手順2)の3項目については必ず同じ内容で入力し、48時間以内にサインアップするようにしてください。

◆ p.49～p.51の手順の途中に、何らかの理由で中断したとき

p.49～p.51で「ID情報」を確認したり、アクセスポイントを選んでいるときなどに何らかの理由で中断した場合は、すでにサインアップが終了してセンターからID情報が送られてきているので、このID情報などを使ってインターネットの設定を行います。

設定の方法については、PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」をご覧ください。

また、ID情報やサーバ情報をメモしていない場合は、再度「BIGLOBEサインアップナビ」を起動してから「登録内容確認」をクリックすると見ることができます。

なお、センター側で入会手続きは終了していますので、絶対にサインアップはやり直さないでください。二重登録になってしまいます。

◆ p.52手順3の「取得情報設定」画面が表示された後で中断したとき

「取得情報設定」画面が表示された後、何らかの理由で中断した場合は、サインアップにともなうすべての設定が終了しているので、何もしなくても構いません。p.52の手順4まで終了したものとして、そのままお使いください。

なお、入会手続きは終了していますので、絶対にサインアップはやり直さないでください。二重登録になってしまいます。

パスワードについて

パスワードは大切なものです。入会手続きが終わってからのパスワードの扱い方について説明しましょう。

仮パスワードと正式なパスワード

◆ ユーザIDと仮パスワード

BIGLOBEに電話回線を通じて入会するとユーザID　と仮パスワードが会員に発行されます。いずれも、アルファベットと数字が組み合わされたものです。ユーザIDは、会員番号のようなもので、変更することができません。
ユーザIDと仮パスワードを使って、入会したその日からBIGLOBEのサービスを利用することができます。なお、仮パスワードでは一部のサービスが受けられません。

◆ 正式なパスワード

入会から1週間前後で、正式なパスワードが書いてある会員証が郵送されてくるので、以降は正式なパスワードを使います。仮パスワードは、入会から14日を経過するか、正式なパスワードでBIGLOBEを利用した時点で無効となります。正式なパスワードは、あとから変更することができます。

パスワードを入力するときは

次のPART4でインターネットに接続するときに、次のような画面が表示されます。この画面には、「ユーザ名」と「パスワード」の入力欄があります。

◎ 正式なパスワードがくるまで

BIGLOBEサインアップナビによって「ユーザ名」と「パスワード」がすでに入力欄に登録されています。正式なパスワードがくるまでパスワードの欄は何も入力しないでください。

◎ 正式なパスワードがきたら

仮パスワードにかえて正式なパスワードを入力します。

1 パスワードの入力欄を【Back Space】で消して正式なパスワードを入力する

入力した文字は、盗み見されないようにすべて＊で表示されますから、間違いのないように入力しましょう。

チェック!! パスワードには大文字と小文字の区別がありますので、間違えないように気をつけてください。

2 「パスワードを保存する」の☑をクリックして☐にする

正式なパスワードがきたら、安全のためパスワードは保存しないようにしましょう。面倒でもインターネット接続のときにはそのつど入力するようにしてください。

チェック!! ・「パスワードを保存する」を☑にすれば、パスワードを保存しておくことができますが、安全のため保存しないでください。

・とくに会社でこのパソコンを使う場合など、他の人に使用される可能性がある場合などは、十分な注意が必要です。

パスワードの入力がうまくいかないときには

インターネットに接続するとき、パスワードが受けつけられないことがあります。そんなときどうしたらよいか、知っておきましょう。

◎ パスワードは半角英数字で入力する

キーボードの状態によっては、半角の英数字モードで正しくパスワードを入力することができません。しかも、パスワードは盗み見されないように、入力した文字が「＊」で表示されるので、誤った入力をしても画面からは確認のしようがありません。次の3点を確認しましょう。まずキーボードを見てください。

◆ キャップスロックキーランプ[A]が点灯しているとき

キャップスロックキーランプが点灯しているときは、そのまま入力すれば大文字が、【Shift】を押したまま入力すれば小文字が入力されます。この状態は【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押せば解除されます。

◆ ニューメリックロックキーランプ[1]が点灯しているとき

ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、キー前面に青で表示されている数字や記号が入力されます。【Num Lock】を押すとランプが消灯し、キー上面の文字が入力できるようになります。

◆ かな入力モードになっているとき

かな入力モードになっていると、半角英数字の「a」を入力したつもりでも半角カタカナの「ﾁ」が入力されます。【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押すたびに、かな入力モードと半角英数字入力モードが切り替わります。どちらのモードになっているか確認するには、ユーザ名の入力欄に「I」カーソルを移動し、【Alt】を押したまま、【半角／全角】を押して、かな漢字変換のツールバーを表示させます。

チェック!! ユーザ名に移動しないと、パスワード欄ではかな漢字変換のツールバーは表示されません。

ATOK11の場合はツールバーの中ほどが「英小ON」になっていれば、半角英数字入力モードになっています。「カナON」になっていたら、かな入力モードになっているので【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押して半角英数字入力モードに切り替えます。

ATOK11のツールバー

MS-IME98の場合はツールバーの右端の「KANA」 の周りがくぼんで表示されていなければ、半角英数字入力モードですから、そのままでけっこうです。「KANA」 の周りがくぼんで表示されていれば、かな入力モードになっているので【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押して半角英数字入力モードに切り替えます。

MS-IME98のツールバー

もう一度、パスワード入力欄をクリックし、「I」を移動させてパスワードを入力しましょう。

チェック!! パスワード欄に移動すると、かな漢字変換モードは解除されます。

正しいパスワードを入力できたでしょうか。再入力が求められたら、もう一度ユーザ名を確認してパスワードを入力してください。それでも接続できないときはパスワードの記憶がまちがっていないか、BIGLOBEの会員証で確認してください。

PART

4

ホームページを見る

インターネットにはさまざまなホームページがあります。PART2ではインターネットエクスプローラの基本的な使い方を説明しました。一歩進んだ活用方法とこのパソコンに入っているいろいろなアプリケーションを活用して知りたい情報を手に入れるためのヒントを紹介しています。

このPARTの内容

インターネットエクスプローラを使う
電話回線の接続状態を知る
「翻訳アダプタII CROSSROAD」を使う
ジェットサーファーを使う
インターネットアクセスマネージャを使う
BIGLOBE Walkerを使う

インターネットエクスプローラを使う

インターネットのホームページを見るためにはブラウザと呼ばれるアプリケーションを使います。このパソコンに入っているインターネットエクスプローラは世界中で多くの人たちが使っているブラウザです。さっそくインターネットエクスプローラを使ってみましょう。

チェック!! **これからの説明は「PART3　BIGLOBEに入会する」の手順に従ってBIGLOBEへ入会した方を対象としています。すでにプロバイダと契約済みの方で、このパソコンにインターネット接続の設定をしていない場合は、PART6を先に済ませてください。**

参照 **・プロバイダと未契約の場合→PART3の「BIGLOBEに入会する」**

参照 **・プロバイダと契約済みで、インターネットの設定を済ませていない場合→PART6の「 すでにプロバイダと契約済みの方へ」**

インターネットエクスプローラを起動する

ホームページを見るために、インターネットエクスプローラを起動します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」→「Internet Explorer」をクリックする

「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

p.62の「インターネットに接続する」に進んでください。

◎「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されなかったとき

「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されず、違う画面が表示された場合は次の例を参考にしてください。

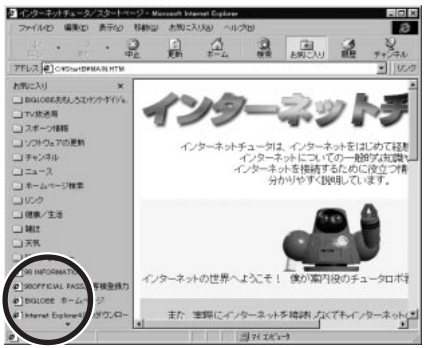
◆「インターネットチュータ」が表示されたとき

PART3の手順で、BIGLOBEへの入会手続きを行わなかった場合は、「インターネットチュータ」が表示されます。

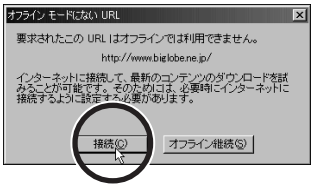
1 「お気に入り」ボタンをクリックする

2 「BIGLOBE　ホームページ」をクリックする

「ダイヤルアップ接続」のウィンドウが表示されます。p.62の「インターネットに接続する」の手順に進んでください。



◆「オフライン　モードにないURL」ウィンドウが表示されたとき



1 「接続」ボタンをクリックする

「接続」ボタンをクリックすると、「オフライン　モード」を解除して「ダイヤルアップ接続」のウィンドウが表示されます。次の「インターネットに接続する」の手順に進んでください。

インターネットに接続する

BIGLOBEサインアップナビを行った場合、ユーザ名と仮パスワードはあらかじめ入力欄に記録されています。

1 「接続」ボタンをクリックする

パスワードが入力されていない場合には、入力してください。

インターネットへの接続が始まりました。次の画面が出ている間、しばらくお待ちください。

しばらくして、BIGLOBEのホームページが表示されます。

次のような画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。

チェック!! インターネットへの接続が始まると電話料金とBIGLOBEなどのプロバイダの利用料金がかかります。

続けてインターネットのホームページを見る場合は、次の「リンクをたどってネットサーフィンしてみる」に進んでください。いったんインターネットを終了する場合は、p.69の「インターネットエクスプローラを終了する」に進んでください。

リンクをたどってネットサーフィンしてみる

画面の中の画像や文字など、いろいろなところでポインタが手の形に変わります。手の形に変わったところをクリックすると、次から次へと世界中のホームページを見ていくことができます。

用語 リンク

ポインタが手の形に変わるところは、他のページにつながる入り口のようなものです。これを「リンク」と呼びます。リンクされた画像や文字をクリックするとリンク先のページに移動します。

用語 ネットサーフィン

リンクをたどって次から次へと気が向くままにホームページを見ていくことを「ネットサーフィン」といいます。

1 矢印（マウスポインタ）をリンクの上まで移動する

リンクが設定されている箇所は、その部分に矢印（マウスポインタ）を合わせると手の形に変わるのですぐに分かります。

2 矢印（マウスポインタ）が手の形に変わったらクリックする

リンク先のページに移動しました。

おもしろそうなところをどんどんクリックしてみましょう。

「お気に入り」の使い方

「お気に入り」にはあらかじめたくさんのホームページが登録されています。ここでは例として「スポーツ情報」に登録されている「Jリーグオフィシャルインフォメーション」のホームページを見てみましょう。

1 「お気に入り」ボタンをクリックする

画面の左に「お気に入り」が表示されます。

2 「スポーツ情報」をクリックし、「Jリーグ」をクリックする

「Jリーグオフィシャルインフォメーション」のホームページが表示されます。

もう一度「お気に入り」ボタンをクリックすると、左側の「お気に入り」の表示が消えてホームページが全画面なります。

「お気に入り」に追加する

「お気に入り」には、気に入ったホームページのアドレスをパソコンに記憶させることができます。

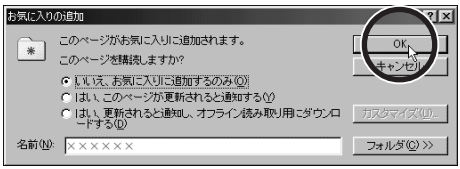
1 「お気に入り」に登録したいホームページを開く

2 メニューバーの「お気に入り」をクリックする

3 「お気に入りに追加」をクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

「お気に入り」に追加されました。



次回から、「お気に入り」ボタンをクリックして表示される一覧の中から選ぶだけで、登録したページを見ることができます。

見たいホームページを指定する

新聞や雑誌などで「http://:www・・・」という表示を見ることがあります。これはホームページの所在地を表示したもので、URL(アドレス)をキーボードから入力すると、ホームページのアドレスを直接指定して見ることができます。

用語 アドレス(URL)

インターネットのホームページやその他の情報の載っているページの所在地のことで、Uniform Resource Locatorを略してURLと呼ばれています。

1 「アドレス」欄にポインタを合わせ、矢印が「I」の形に変わったらクリックする

「アドレス」欄の文字が反転表示されます。

2 見たいホームページのURLを入力し、【Enter】を押す

指定したホームページが表示されます。

チェック!! URLは半角の英数字で入力します。大文字・小文字の区別がありますので注意して下さい。

アドレス(URL)の入力を始めると、入力補助(オートコンプリート)機能が働いて、過去に表示したアドレスと一致するものが自動的に表示されます。入力中のアドレスと同じ場合はそのまま【Enter】を押してください。異なる場合は、そのままアドレスの入力を続けてください。

過去の履歴をたどって移動する

ネットサーフィンしているときに、しばらく前に見たホームページに移動したい場合があります。ホームページの移動の履歴は記録されているので、履歴をたどって移動することができます。

1 「戻る」ボタンの右側の「▼」をクリックする

過去に移動したホームページの一覧が表示されます。

2 戻りたいホームページをクリックする

選んだホームページが表示されます。

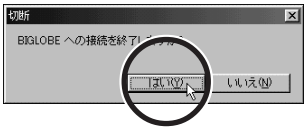
インターネットエクスプローラを終了する

ネットサーフィンが終わったらインターネットエクスプローラを終了します。インターネットエクスプローラを終了すると電話回線が切断されます。

チェック!! インターネットに接続している間は電話料金とBIGLOBEなどのプロバイダの利用料金がかかります。

1 ×(閉じる)ボタンをクリックする

2 「BIGLOBEへの接続を終了しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする



電話回線の接続状態を知る

インターネットに接続している間は、電話料金とBIGLOBEなどのプロバイダに支払う料金がかかります。インターネットエクスプローラの使用中に電話回線の利用状況を表示したり、電話を切ってインターネットへの接続を切断する機能を紹介します。

電話回線の接続が始まるとき

インターネットエクスプローラはインターネットに接続する必要があると自動的に電話回線を接続してインターネットの情報にアクセスします。インターネットへの接続が必要になると次の画面が出ます。

1 「接続」ボタンをクリックする

パスワードが入力されていない場合には、入力してください。

電話回線の接続が始まります。

チェック!! インターネットへの接続が始まると電話料金とBIGLOBEなどのプロバイダの利用料金がかかります。

接続の状態を知る

電話回線の使用状況を表示してみましょう。電話回線に接続している間は、タスクバーに接続中であることを示すマーク が表示されます。このマークをアクセスマネージャアイコンといいます。

1 タスクバーの をダブルクリックする

モデルにより多少画面が異なります。

状況を表示する画面が表示され、接続時間などを確認することができます。

2 「OK」ボタンをクリックする

表示画面が閉じます。

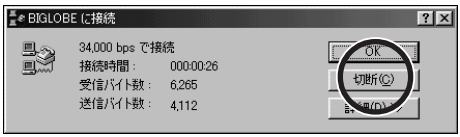
接続を切る

電話回線を切断してみましょう。 は電話回線に接続している間、タスクバー上に表示されます。

1 タスクバーの をダブルクリックする

状況を表示する画面が表示されます。

2 「切断」をクリックする



電話回線が切断され、タスクバーの が消えます。

「翻訳アダプタII　CROSSROAD」を使う

インターネットの最大の魅力は、世界中のさまざまな情報を一瞬にして手に入れられることです。英語はちょっと苦手という方も「翻訳アダプタII　CROSSROAD」を使って、世界中のホームページをのぞいてみましょう。

翻訳アダプタII　CROSSROADを起動する

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「翻訳アダプタII　CROSSROAD」の「翻訳アダプタII　CROSSROAD」をクリックする

小さなウィンドウが表示されます。表示位置は変わることがあります。これで「翻訳アダプタII　CROSSROAD」が起動しました。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」→「Internet Explorer」をクリックする

インターネットエクスプローラが起動します。

3 英語のホームページを開く

英語のホームページを開きましょう。ここではロンドン自然史博物館のホームページを開いてみます。

URL　　http://www.nhm.ac.uk/museum/lifegal/21/21.html

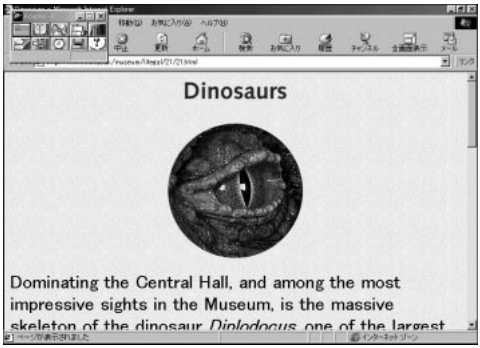
上記のURLをインターネットエクスプローラの「アドレス」欄に入力して、インターネットに接続してください。

参照　URLの入力→「見たいホームページを指定する」(p.67)

ホームページは頻繁に変わっています。ここに挙げたホームページが見られない場合もあります。

翻訳アダプタII CROSSROADを使って英文を読む

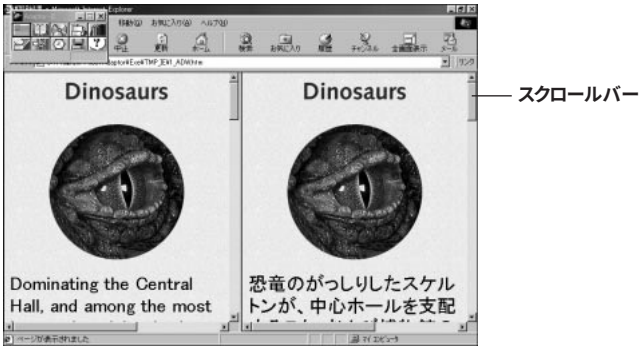
このページを翻訳してみます。



1 「翻訳アダプタII CROSSROAD」の ボタンをクリックする

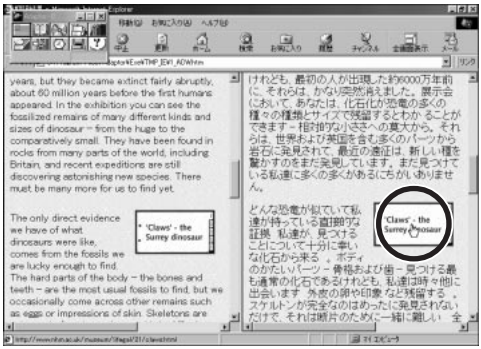
翻訳には時間がかかります。次の画面が出るまでしばらくお待ちください。

2 スクロールバーを使って日本語訳を読む

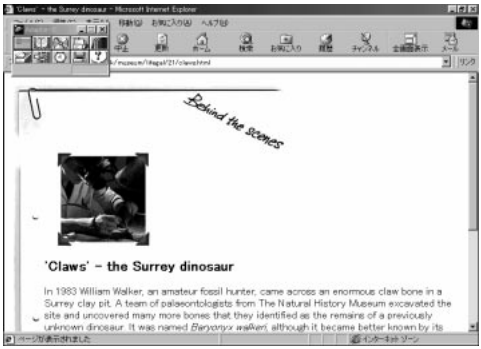


2つに分かれた画面の左側に英文のホームページが、右側に日本語訳が表示されます。
訳語の変更、辞書の使い方などの詳細は、オンラインヘルプを利用してください。

3 矢印が手の形に変わったらクリックする



しばらくするとリンク先のページが表示されます。このように日本語訳のリンクを使ってリンク先に移動することもできます。



チェック!! 翻訳には時間がかかります。始めに英語のページが表示されたときにいったんインターネットとの接続を切ることをおすすめします。切断したあとで「翻訳アダプタII CROSSROAD」を使っていままでに見ていた英語のページを翻訳することができます。翻訳している間の接続料金の節約ができます。また翻訳されたページをじっくり見るためにも有効です。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

翻訳アダプタII CROSSROADを終了する

1 ×(閉じる)ボタンをクリックする

ジェットサーファーを使う

ジェットサーファーは指定したホームページに張られているリンク先を自動的に調べて、リンク先の情報をまとめて収集してくるアプリケーションです。欲しい情報のあるページを、すばやく探し出せます。

ジェットサーファーでできること

◎ ホームページのリンク先の情報を見る（ホームページの分析・表示）

ジェットサーファーでは、いま見ているホームページのリンク先のページのタイトル、文章、使われているメディアファイル（画像、動画、音声ファイル）などの情報を収集してきて、その結果を分類表示させることができます。ジェットサーファーではこの機能をホームページの分析・表示と呼んでいます。

◎ 文字列検索

文字列を指定して、その文字列を含むページを探し出すことができます。

◎ 分析結果から、見たいページを表示する

ジェットサーファーで分析した結果から、見たいページのタイトルをクリックするだけでそのページを表示することができます。これによりブラウザを使ってリンクをたどっていかなくても深い階層にあるページをすばやく見ることができます。

◎ 分析結果からファイルをダウンロードする

ジェットサーファーで分析した結果からファイル名をクリックするだけで、簡単に目的のファイルをダウンロードすることができます。

◎ お気に入り登録

分析した情報を「お気に入り」として名前を付けて登録しておくことができます。これによっていつでも好きなときに「お気に入り」の分析結果を見ることができます。

◎ 更新情報を表示する

以前に分析した情報の中で、どのホームページが更新されているのか、分かるように表示します。ジェットサーファーの「お気に入り」に登録した情報をもう一度分析させると情報が更新されたページのタイトルのアイコンにマークがつきます。これにより変更されたページだけを効率よく見ることができます。

ジェットサーファーを起動する

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「ジェットサーファー」の「ジェットサーファー」をクリックする

ジェットサーファーが起動します。

ホームページを分析する

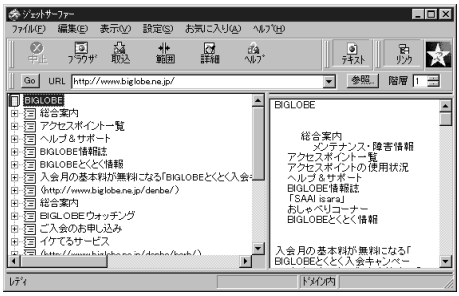
ジェットサーファーには多くの機能があります。ここでは「分析」の機能を使ってみましょう。続いて、「分析結果から検索」で目的の情報を見つける手順を行ってみます。

1 ジェットサーファーを起動する

2 アドレス欄にホームページのURLを入力し、【Enter】を押す

ここでは、「http://www.biglobe.ne.jp/」と入力します。これはBIGLOBEのホームページのURLです。

3 「GO」ボタンをクリックする



インターネットに接続し、指定したホームページの分析結果が表示されます。ここではBIGLOBEのホームページを分析しました。画面左側にホームページの構造が、右側に文章の内容が表示されています。

4 メニューバーの「編集」→「文字列検索」→「分析結果から検索」をクリックする

「文字列検索－分析結果から検索」ダイアログボックスが表示されます。

5 検索したい文字列を「検索する文字列」欄に入力して、「実行」ボタンをクリックする

「文字列検索結果」ウィンドウに検索結果が表示されます。

6 分析結果から表示させたい情報をクリックする

7 メニューバーの「ファイル」→「ブラウザに表示」をクリックする

インターネットエクスプローラが起動して選んだページが表示されます。

ここでは最も基本的な使い方だけを紹介しました。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

インターネットアクセスマネージャを使う

インターネットアクセスマネージャは、インターネットを効率よく利用するためのアプリケーションです。接続時間と料金を管理したり、電話料金の安い夜間に「オートパイロット機能」を利用したりすることによって、電話料金を節約することができます。

インターネットアクセスマネージャでできること

インターネットアクセスマネージャの詳しい操作方法や注意事項は、オンラインヘルプをご覧ください。

◎ オートパイロット

指定したホームページを夜間などの電話料金が安い時間帯に自動巡回して、データを自分のパソコンにダウンロードすることができます。ダウンロードした後に、未接続の状態でホームページを見ることができるので料金を気にする必要がありません。

◎ 接続時間と料金を管理する

インターネットにアクセスしたおおよその接続時間と接続料金を、日単位または月単位で表示することができます。
あらかじめ設定しておいた接続時間・料金を超えたらアラーム通知を表示することもできます。

チェック!! **表示される料金は目安です。実際の料金と一致するとはかぎりません。**

◎ オートダイヤル

指定しておいた接続先にワンタッチで自動接続・切断ができます。他に接続先を指定しておけば、ダイヤル先がビジー（混雑時）の場合に自動的に次の接続先へダイヤルします。

◎ URL情報の登録と整理

URLに簡単なコメントを付けて登録することができます。よく使うURLを登録し、フォルダを使って階層的にURL情報を整理することができます。

◎「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」の自動反映

「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」と「インターネットアクセスマネージャ」の「URLリスト」-「インターネットお気に入り」の内容が自動的に同じになります。

チェック!! 自動反映はインターネットアクセスマネージャの起動時に行われます。

インターネットアクセスマネージャの動作環境を設定する

インターネットアクセスマネージャを利用するには、動作環境を設定する必要があります。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」の「インターネットアクセスマネージャ」をクリックする

インターネットアクセスマネージャが起動します。

2 メニューバーの「表示」→「オプション」をクリックする

「オプション」ウィンドウの「接続先・料金管理」タブが表示されます。

3 「接続先／料金管理」の設定をする

設定の方法は、オンラインヘルプをご覧ください。画面右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、オンラインヘルプが表示されます。

4 「アプリケーション」の設定をする

インターネットアクセスマネージャといっしょに使うブラウザなどのアプリケーションを指定します。「オプション」ウィンドウの「アプリケーション」のタブをクリックしてください。「WWWブラウザ」の欄にファイル名が入っている場合は特に設定する必要はありません。ファイル名が入っていない場合や、別のブラウザを登録したい場合は「参照」ボタンをクリックしてブラウザを指定してください。

BIGLOBE Walkerを使う

BIGLOBE Walkerは、インターネット接続したり、電子メールをやり取りするためのアプリケーションです。

チェック!! この項目はすでにBIGLOBEの入会手続きが済んでいることを前提としています。入会手続きが済んでいない場合は、PART3の「BIGLOBEに入会する」をご覧になって、入会手続きを済ませてください。

BIGLOBE Walkerの起動

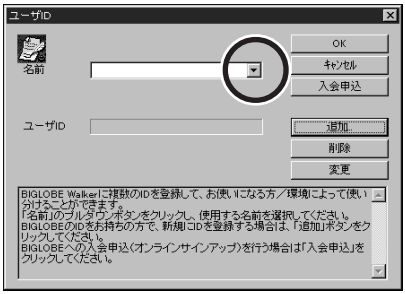
BIGLOBE Walkerを起動してみましょう。

1 デスクトップの「BIGLOBEでインターネット」アイコンをダブルクリックする

ユーザIDを選択する画面が表示されます。

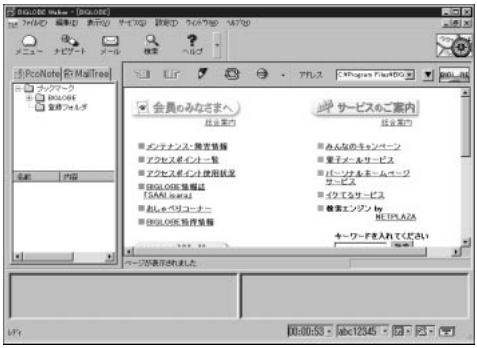
2 「名前」を選択する

「名前」の右の ▼ をクリックして選びます。



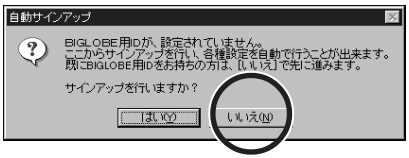
3 「OK」ボタンをクリックする

BIGLOBE Walkerが起動し、メインメニューが表示されます。ご覧になりたいメニューをクリックするか、URLを入力すると、自動的に電話回線を使ってBIGLOBEへ接続します。



◎ 初めてBIGLOBE Walkerを起動したときは

BIGLOBEのユーザIDなどが設定されていない場合には、起動時に次のようなウィンドウが表示されます。



この場合、BIGLOBE Walkerの設定が必要です。
「いいえ」ボタンをクリックすると設定画面が表示されるので、BIGLOBE入会時に送付されてきたユーザID、パスワードなどの情報を登録してください。
また、アクセスポイントなどの通信設定も行う必要があります。

> 詳しくは「クイックマニュアル」をご覧ください。
> クイックマニュアルは、「スタート」ボタン→「BIGLOBEツール」→「BIGLOBE Walker」→「クイックマニュアル」をクリックすると表示されます。

BIGLOBE Walkerブラウザの使い方

BIGLOBE Walker ブラウザを使うとインターネットのホームページを見ることができます。

用語 ブラウザ

ホームページを見るためのアプリケーションのことをブラウザといいます。BIGLOBE Walkerはブラウザとしての機能も持っています。

ブラウザ部分の上部にあるボタンに矢印を合わせると、ボタンの名前が表示されます。

◆「戻る」ボタンと「進む」ボタン

それぞれひとつ前のページ、ひとつ後のページに移動します。

◆「登録」ボタン

現在見ているページを情報キャビネットに登録します。情報キャビネットについてはオンラインヘルプを参照してください。

◆「更新」ボタン

現在見ているページをもう一度読み込みます。

◆「中止」ボタン

情報の読み込みを中止します。

BIGLOBE Walkerの終了

BIGLOBE Walkerを終了するには、ウィンドウ右上の×(閉じる)ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューから「アプリケーションの終了」を選んでください。

1 ×(閉じる)ボタンをクリックする

BIGLOBE Walkerが終了し、自動的に電話回線が切れます。

PART

5

電子メールを使う

Outlook Expressというソフトを使って電子メールを送ってみましょう。ここでは、電子メールを使うための設定をしたあと、実際に電子メールを書いて送ってみます。

このPARTの内容

電子メールを始める
接続の設定
電子メールの送信と受信
受け取った電子メールを読む
電子メールを書く
返信の電子メールを送る

電子メールを始める

電子メールを送ったり受け取ったりするには、「Outlook Express」というアプリケーションを使います。最初に、Outlook Expressを起動して設定を行います。LB20/40Aでは「モバイルメール」というソフトを使っても電子メールを送ったり受け取ったりできます。詳しくは添付の『モバイルメールファーストステップガイド』をご覧ください。

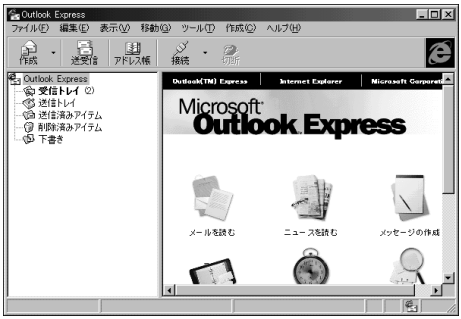
チェック!! このPARTでの説明はPART3の「BIGLOBEに入会する」の手順に従ってBIGLOBEへ入会し、正式パスワードを取得した方を対象としています。すでにプロバイダと契約済みの方で、このパソコンにインターネット接続の設定をしていない場合は、PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」の手順を先に済ませてください。

参照 ・プロバイダと未契約の場合→PART3の「BIGLOBEに入会する」
・プロバイダと契約済みで、インターネットの設定を済ませていない場合→PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」

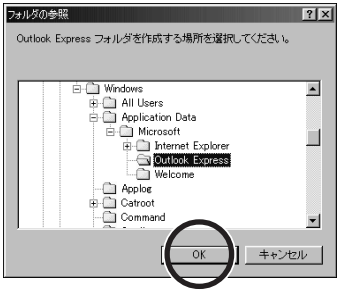
Outlook Expressの起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリックする

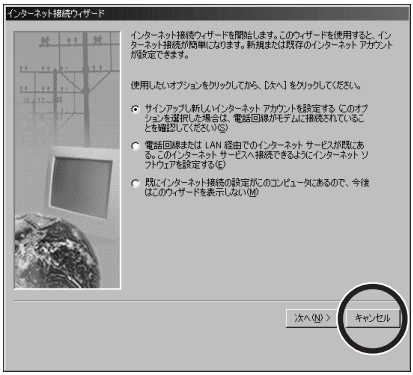
しばらくすると次のような画面が表示されます。



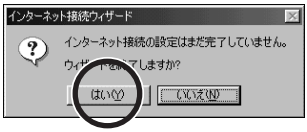
初めて「Outlook Express」を起動したときには、次の画面が表示されることがあります。この場合は、「Outlook Express」のデータ保存用フォルダを作成する場所を確認してから「OK」ボタンをクリックしてください。



チェック!! **インターネットへの接続の設定を行っていない場合には、次のような「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。**



この場合には、「キャンセル」ボタンをクリックし、「インターネット接続の設定はまだ完了していません。ウィザードを終了しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。



参照 **・プロバイダと未契約の場合→PART3の「BIGLOBEに入会する」**

・プロバイダと契約済みで、インターネットの設定を済ませていない場合→PART6の「すでにプロバイダと契約済みの方へ」

接続の設定

Outlook Expressを使って電子メールをインターネットに送るためには、電話回線を使ってインターネットへ接続する必要があります。Outlook Expressをより使いこなすための設定を行いましょう。

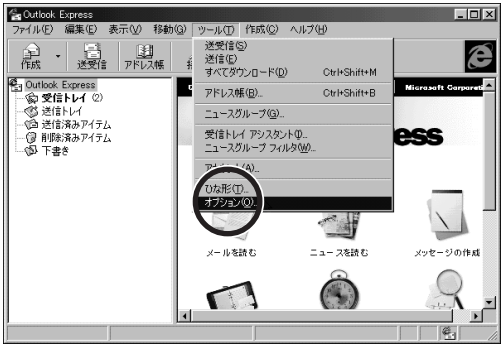
チェック!! ここでの設定は、始めに一度だけ行えば、毎回接続のたびに行う必要はありません。

メールの送受信が終わったら自動的に電話を切る設定にする

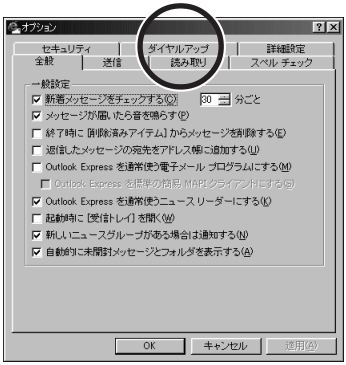
電話回線を使ってインターネットに接続すると、プロバイダに支払う接続サービス料金と電話料金が必要になります。この設定は、電子メールの送受信を行うときだけインターネットに接続するようにするための設定です。この設定を行うことによって電話代を節約し、経済的に電子メールのやりとりを行うことができます。必ず、始めに設定することをおすすめします。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション」ウィンドウが表示されます。



2 「ダイヤルアップ」タブをクリックする



3 「ダイヤルしない」の○をクリックして◉に変える

4 「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」を☑にする

送信するメールをテキスト形式に設定する

「Outlook Express」ではHTML形式とテキスト形式の2つの形式の電子メールを扱うことができます。HTML形式の電子メールではホームページのように文字の大きさを変えたりしてメリハリのある電子メールを書くことができますが、この場合、受け取る側の電子メールソフトもHTML形式に対応している必要があります。ここでは誰にでも読める電子メールを送ることができるようにテキスト形式に設定します。

1 「オプション」ウィンドウを開く（→p.88）

2 「送信」タブをクリックする

3 「テキスト形式」の○をクリックして◉に変える

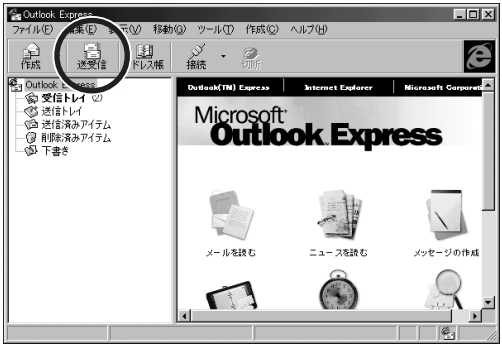
4 「OK」ボタンをクリックする

電子メールの送信と受信

電子メールは、プロバイダに接続しなければ送信も受信もできません。送信する電子メールがなくても、ときどきこの操作を行って自分宛の電子メールが届いていないか確認しましょう。これは玄関前の郵便受けを毎日チェックするのと似ています。

インターネットへの接続

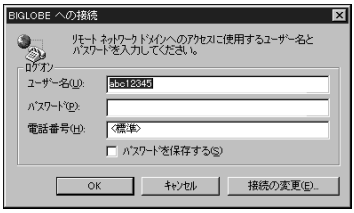
1 「送受信」ボタンをクリックする



この操作でインターネットへの接続が開始され、電子メールの送信と受信が行われます。

2 「パスワード」を入力する

まず始めに、パスワードを入力してインターネットへ接続します。パスワードは大文字/小文字の区別がありますから、正確に入力しましょう。



チェック!! ・**「パスワードを保存する」の左にある☐をクリックして☑にすればパスワードを保存しておくことができますが、安全のため保存しないでください。**

・**特に会社でこのパソコンを使う場合など、他の人に使用される可能性がある場合などは、十分な注意が必要です。**

3 「OK」ボタンをクリックする

「BIGLOBE(接続サービス会社)へ接続中・・・」が表示され、インターネットへの接続が始まります。この状態で30秒程度接続のために時間がかかります。

◎ パスワードがまちがっていたときは

入力したパスワードにまちがいがあったときには、もう一度入力を求められます。入力した文字はすべて「 ＊ 」で表示されますから、まちがいのないように入力しましょう。

参照 **パスワードの入力がうまくいかないとき→PART3の「パスワードの入力がうまくいかないときには」(p.57)**

メールサーバとの接続

次に、メールパスワードを入力してメールサーバと接続します。パスワードは全角/半角/大文字/小文字の区別がありますから、正確に入力しましょう。入力したパスワードは盗み見されないように、すべて「 ＊ 」で表示されます。

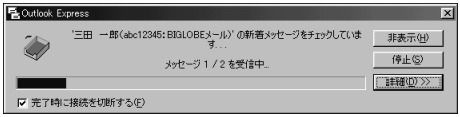
1 「ログオン」画面が表示されたら、「パスワード」を入力する

チェック!!

- **「パスワードを保存する」の左にある☐をクリックして☑にすればパスワードを保存しておくことができますが、安全のため保存しないでください。**
- **特に会社でこのパソコンを使う場合など、他の人に使用される可能性がある場合などは、十分な注意が必要です。**

2 「OK」ボタンをクリックする

「送受信」ウィンドウが表示され、新着メッセージ(電子メール)取り込みの状況などが表示されます。この状態で接続のために多少時間がかかります。



◎ パスワードがまちがっていたときは

入力したパスワードにまちがいがあったときには、もう一度入力を求められます。入力した文字はすべて「＊」で表示されますから、まちがいのないように入力しましょう。

参照 パスワードの入力がうまくいかないとき→PART3の「パスワードの入力がうまくいかないときには」(p.57)

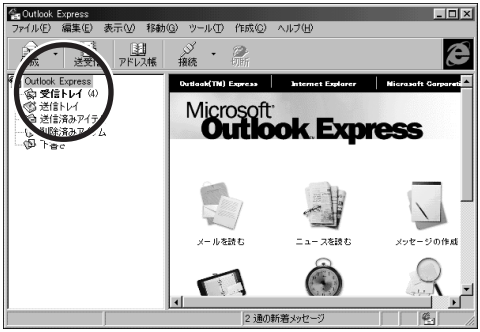
受け取った電子メールを読む

電子メールが届いたら、さっそく読んでみましょう。電子メールはOutlook Expressの受信トレイに届きます。

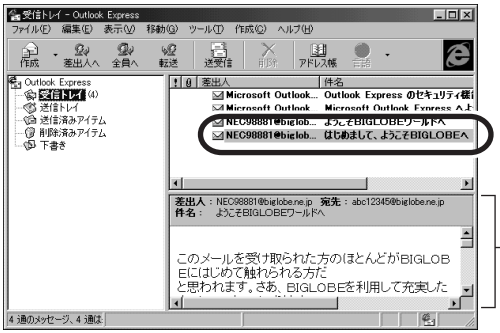
届いた電子メールを読む

未読メールがあるときには、ウィンドウ左側の「受信トレイ」の文字が太字で表示されます。( )内の数字は未読メールの数です。

1 「受信トレイ」をクリックする



2 届いた電子メールをクリックする



選んだ電子メールに色が付き、その電子メールの内容がウィンドウの右下半分(プレビューウィンドウ)に表示されます。

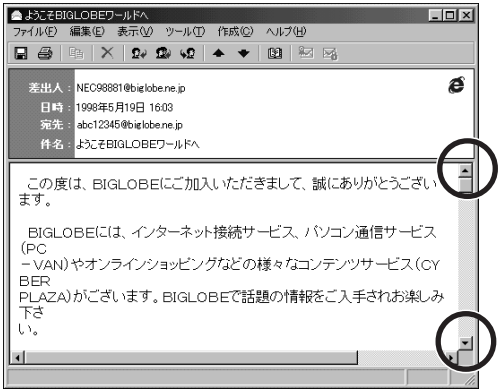
3 ▲や▼を使って読んでみる

読みにくいときには

電子メールをダブルクリックすると新しいウィンドウが開き内容が表示されます。この方法を使えば、何通もの電子メールを同時に表示することができます。

1 届いた電子メールをダブルクリックする

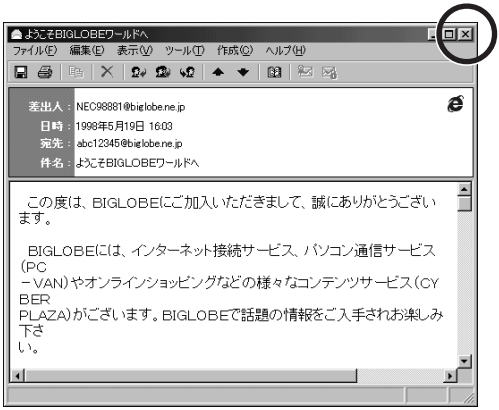
2 新しいウィンドウが開いてメッセージの内容が表示されるので、▲と▼を使って読む



読み終えたら

1 ×(閉じる)ボタンをクリックする

受信したメールの内容を表示したウィンドウを閉じます。

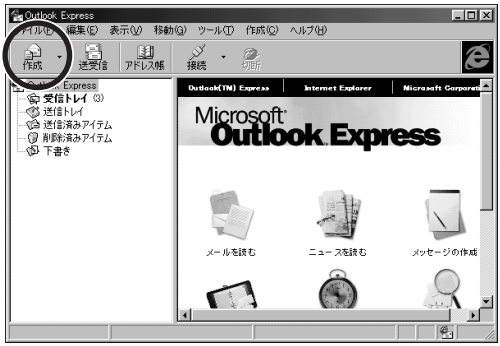


電子メールを書く

いよいよ電子メールを書いてみます。すでに電子メールアドレスを持っている友人などに、初めての電子メールを送ってみましょう。

電子メールを書く

1 「作成」ボタンをクリックする



「メッセージの作成」ウィンドウが表示されます。

2 宛先の電子メールアドレスを入力する

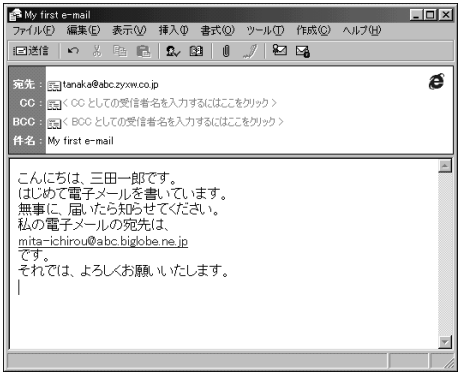
実際に送る相手の電子メールアドレスは正確に入力します。インターネットの電子メールアドレスは、半角の英数字または記号で表記され、必ず途中に「@」が入ります。

3 件名を入力する

件名は日本語で表記することができますが、文字化けの原因になることがあるので、できるだけ半角の英数字で書くようにしてください。半角カタカナは使用しないでください。

電子メールの件名は、簡潔に内容がよく分かるように書きます。長くても40文字（ひらがなや漢字ならば20文字）程度にしましょう。

4 本文を書く



「CC:」「BCC:」の欄に電子メールアドレスを書くと、まったく同じ内容の電子メールを複数の相手に送ることができます。

チェック!! 電子メールでは半角カタカナと全角の特殊文字は使わない。

用語 CC

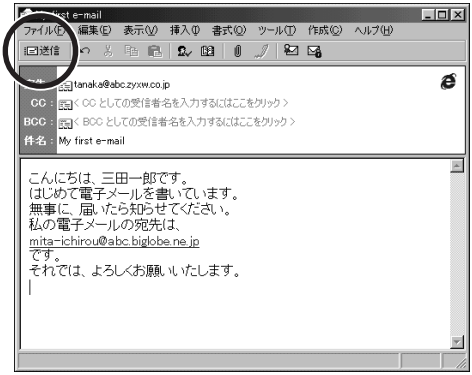
カーボンコピーの略で、ここに電子メールアドレスを書くと、まったく同じ内容の電子メールを複数の相手に送ることができます。電子メールを受け取った相手も、その電子メールが他の誰に送られたか知ることができます。

用語 BCC

ブラインドカーボンコピーの略で、ここに電子メールアドレスを書くと、電子メールを受け取った相手に知られずに、まったく同じ内容の電子メールを複数の相手に送ることができます。

本文を書き終わったら

1 送信(送信)ボタンをクリックする



送信(送信)ボタンをクリックすると、インターネットへの接続が始まり、電子メールが送信されます。

> 書き終えた電子メールを送らずに破棄する場合には、右上にある(閉じる)ボタンをクリックします。「このメッセージへの変更を保存しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックします。

返信の電子メールを送る

電子メールは配信にほとんど時間がかからないのが魅力です。電子メールを送っても返事が遅くては、魅力半減です。届いた電子メールは、さっそく読んで返事を出しましょう。

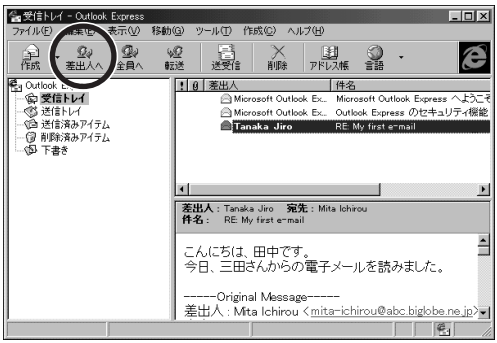
返信の対象を選ぶ

まず、返信を出す電子メールを選びます。選んだ電子メールの差出人が自動的に宛先に設定され、件名も自動的に「RE:届いた電子メールの件名」となり、どの電子メールに対する返信なのか分かりやすくする工夫がされています。

1 届いた電子メールの件名をクリックする

選んだ電子メールに色が付き、その電子メールの内容がウィンドウの右下半分(プレビューウィンドウ)に表示されます。

2 「差出人へ」ボタンをクリックする

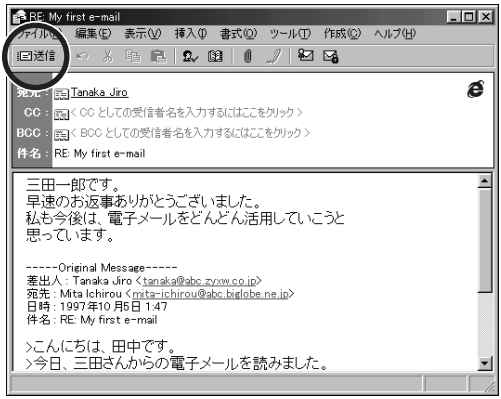


電子メール作成用のウィンドウが表示されます。
返事の対象にした電子メールの内容が自動的に本文に取り込まれます。取り込まれた部分は、本文と見分けがつくように行頭に「>」が付加されます。

3 返事の本文を書く

返事を書き終わったら

1 送信 (送信)ボタンをクリックする



送信 (送信)ボタンをクリックすると、インターネットへの接続が始まり、電子メールが送信されます。

> 書き終えた電子メールを送らずに破棄する場合には、右上にある (閉じる)ボタンをクリックします。「このメッセージへの変更を保存しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックします。

PART

6

すでにプロバイダと契約済みの方へ

すでにプロバイダと契約している場合の設定方法を説明します。またプロバイダを変更する場合にも、設定の変更が必要です。

このPARTの内容

設定を始める準備
インターネット接続の設定

設定を始める準備

インターネット接続ウィザードを使えば、簡単にインターネット接続の設定ができます。これからインターネット接続のための設定と、電子メールを使用するための設定を行います。

次のような場合に、このPARTをご覧になって設定を行ってください。

・すでに他のプロバイダと契約している場合
・BIGLOBEに申込書類を郵送して契約済みの場合
・利用するプロバイダを変更する場合
・再セットアップした場合

チェック!! **この設定は、PART3の「BIGLOBEに入会する」でオンラインサインアップをした場合は、必要ありません。**

チェック!! **すでにPART3の手順にしたがってBIGLOBEへの入会手続きを済ませたのちに「再セットアップ」を行うと、入会手続き時に設定された内容は失われてしまいます。その場合はもう一度PART3の「BIGLOBEに入会する」を行うのではなく、このPARTの記述にしたがって設定し直してください。**

ここでの説明は、NECが運営するプロバイダ「BIGLOBE」へ申込書類を郵送して入会手続きを行った場合の例です。BIGLOBEオンラインサインアップ後に「再セットアップ」を行った場合もまったく同じです。他のプロバイダを利用する場合には用語が異なるかもしれませんが、プロバイダから郵送されてきた資料をよく見て整理しておきましょう。

初めてインターネット接続の設定をする場合

初めてインターネット接続の設定を行う場合や、再セットアップをしたあとでこれからの設定を行う場合には、電話回線の種別について設定を行う必要があります。

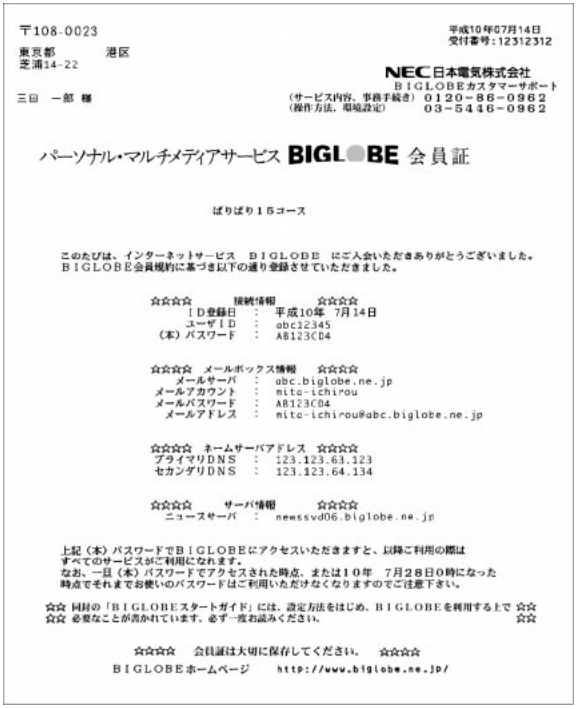
チェック!! **電話回線には、「トーン」(プッシュ回線)と「パルス」(ダイヤル回線)があります。使用する電話回線の種別を、あらかじめ確認しておいてください。なお、電話機がプッシュボタン式でも回線がプッシュ(トーン)とは限りませんのでご注意ください。**
ダイヤル方法がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

◆ 確認の方法

・NTTの電話料金の請求書／領収書に「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーン」、なければ「パルス」です。

・電話機の受話器をあげて、ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がすれば「トーン」です。

設定項目を確認する



〒108-0023
東京都　　港区
芝浦14-22

三田　一郎 様

平成10年07月14日
受付番号：12312312

NEC日本電気株式会社
BIGLOBEカスタマーサポート
（サービス内容，事務手続き）　0120－86－0962
（操作方法，環境設定）　03－5446－0962

パーソナル・マルチメディアサービス BIGLOBE 会員証

ばりばり１５コース

このたびは、インターネットサービス　BIGLOBE　にご入会いただきありがとうございました。
BIGLOBE会員規約に基づき以下の通り登録させていただきました。

☆☆☆☆　接続情報　☆☆☆☆
ＩＤ登録日　：　平成10年　7月14日
ユーザＩＤ　：　abc12345
（本）パスワード　：　AB123CD4

☆☆☆☆　メールボックス情報　☆☆☆☆
メールサーバ　：　abc.biglobe.ne.jp
メールアカウント　：　mito-ichirou
メールパスワード　：　AB123CD4
メールアドレス　：　mito-ichirou@abc.biglobe.ne.jp

☆☆☆☆　ネームサーバアドレス　☆☆☆☆
プライマリDNS　：　123.123.63.123
セカンダリDNS　：　123.123.64.134

☆☆☆☆　サーバ情報　☆☆☆☆
ニュースサーバ　：　newssvd06.biglobe.ne.jp

上記（本）パスワードでＢＩＧＬＯＢＥにアクセスいただきますと、以降ご利用の際はすべてのサービスがご利用になれます。
なお、一旦（本）パスワードでアクセスされた時点、または１０年　７月２８日０時になった時点でそれまでお使いのパスワードはご利用いただけなくなりますのでご注意下さい。

☆☆　同封の「ＢＩＧＬＯＢＥスタートガイド」には、設定方法をはじめ、ＢＩＧＬＯＢＥを利用する上で必要なことが書かれています。必ず一度お読みください。　☆☆

☆☆☆☆　会員証は大切に保存してください。　☆☆☆☆
ＢＩＧＬＯＢＥホームページ　http://www.biglobe.ne.jp/

これは「BIGLOBE」の会員証の一例です。内容は変更になることがあります。なお、この会員証には接続先（アクセスポイント）の電話番号は記載されていません。

参照　アクセスポイントについて→PART2の「プロバイダと契約する」(p.30)

BIGLOBEの会員証とこのマニュアルの設定項目の対応表

BIGLOBE	この本
ユーザID	ユーザー名
(本) パスワード	パスワード
メールサーバ	受信メールサーバー
	送信メールサーバー
メールアカウント	POPアカウント名
メールパスワード	(メール) パスワード
メールアドレス	電子メールアドレス
プライマリDNS	DNSサーバー
セカンダリDNS	別のDNSサーバー

これから設定を行う項目について説明していきます。

・接続先の電話番号
プロバイダのアクセスポイントの電話番号です。近くのアクセスポイントをあらかじめ調べておきましょう。

・ユーザー名
プロバイダから指定されます。インターネット接続を行うためのユーザー名です。

・パスワード
プロバイダから指定されます。インターネット接続を行うためのパスワードです。

・DNSサーバー
プロバイダから指定されます。ドメインネームサーバーとも呼ばれています。

・別のDNSサーバー
プロバイダから指定されます。別のDNSサーバーが指定されない場合には、空欄にしておきます。セカンダリドメインネームサーバーということもあります。

・接続名
どのプロバイダのどこのアクセスポイントへの接続の設定なのかわかりやすい名前を付けるといいでしょう。

・表示名
あなたの電子メールが宛先に届いたときに、差出人として表示されます。

・電子メールアドレス
プロバイダから指定されます。

・受信メールサーバー
プロバイダから指定されます。POP3サーバーということもあります。受信メールサーバーと送信メールサーバーが別々に指定される場合もありますが、ほとんどの場合は同一で、一括してメールサーバーとして指定されます。

・送信メールサーバー
プロバイダから指定されます。SMTPサーバーということもあります。

・POPアカウント名
電子メールアドレスの@より前の部分です。

・(メール)パスワード
メールサーバーとのデータのやりとりに使用するパスワード。プロバイダから指定されます。インターネット接続のためのパスワードと同一の場合もあります。

・インターネット メール アカウント名
電子メールを扱うアプリケーション「Outlook Express」でいくつもの電子メールアドレスを管理するためにわかりやすい名前を付けましょう。

インターネット接続の設定

「インターネット接続ウィザード」を使って、インターネット接続の設定を始めます。アクセスポイントの電話番号などの情報を入力していくと、インターネット接続のための設定ができます。

セットアップを開始する

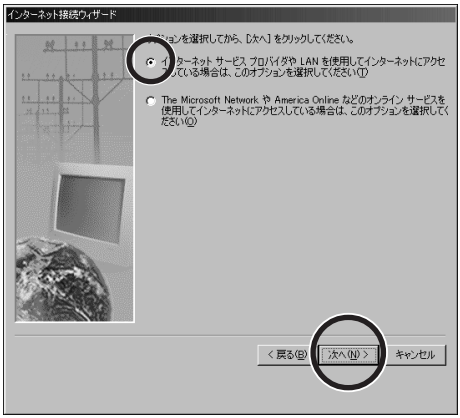
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「接続ウィザード」をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。

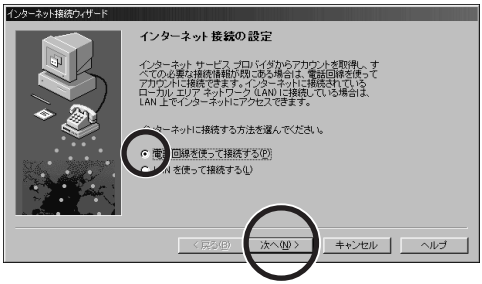
2 「電話回線またはLAN経由でのインターネット サービスが既にある。このインターネット サービスへ接続できるようにインターネット ソフトウェアを設定する」の○をクリックして◉に変える

3 「次へ」ボタンをクリックする

4 「インターネット サービス プロバイダやLANを使用してインターネットに接続している場合は、このオプションを選択してください」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする



5 「電話回線を使って接続する」の◉を確認して「次へ」ボタンをクリックする

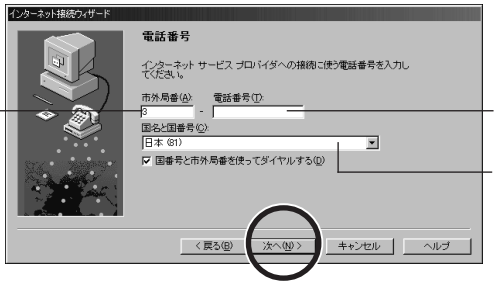


チェック!! 既存のダイヤルアップ接続がひとつも登録されていない場合には、次の設定画面は表示されません。このあとの「アクセスポイントの電話番号を登録する」に進んでください。

6 **「新規にダイヤルアップ接続を行う」の◉を確認して「次へ」ボタンをクリックする**

アクセスポイントの電話番号を登録する

プロバイダのアクセスポイント(接続先)を入力します。



0 を除いた「市外局番」

プロバイダ(アクセスポイント)の「電話番号」

「国名と国番号」

1 **アクセスポイントの電話番号の「市外局番」を先頭の0を除いて入力する**

2 **アクセスポイントの「電話番号」を市外局番を除いて入力する**

3 **▼をクリックして「国名と国番号」から「日本(81)」を選ぶ**

4 **「次へ」ボタンをクリックする**

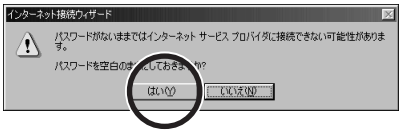
これでプロバイダのアクセスポイントの電話番号が設定されました。

5 ユーザー名を入力する（パスワードは入力しない）

安全のため、パスワードは接続のたびに入力することにして、ここでは入力しません。

6 「次へ」ボタンをクリックする

「パスワードがないままではインターネット サービス プロバイダに接続できない可能性があります。パスワードを空白のままにしておきますか?」という画面が出ます。

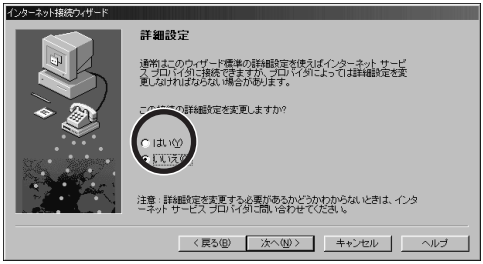


7 「はい」ボタンをクリックする

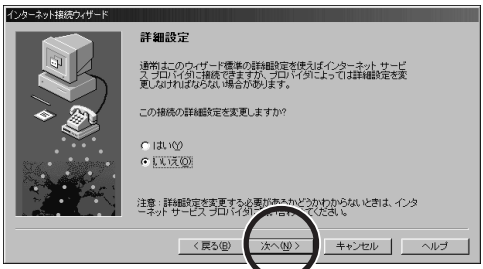
パスワードは安全のため、接続するときなど必要なたびに入力することをおすすめしますので、ここでは「はい」を選びます。

プロバイダへの接続条件を入力する

1 「はい」の○をクリックして◉に変える



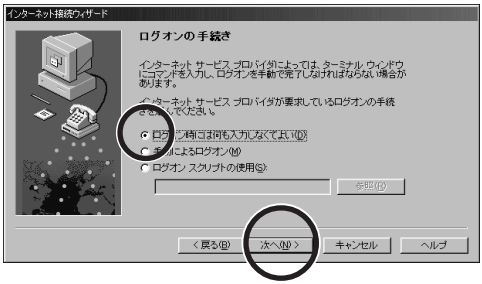
2 「次へ」ボタンをクリックする



3 「PPP」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

4 **「ログオン時には何も入力しなくてよい」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする**

BIGLOBEやほとんどのプロバイダは「ログオン時に何もしない」に設定します。もしインターネットに接続できない場合には、プロバイダに確認してください。

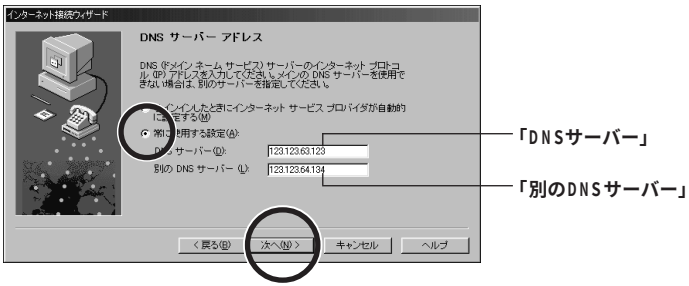


5 **「インターネット サービス プロバイダが自動的に割り当てる」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする**

DNSサーバーのアドレスを入力する

プロバイダから指定された「DNS　サーバー」と「別のDNS　サーバー」のアドレスを入力します。アドレスは0.0.0.0から255.255.255.255までの数で、各ブロックの間には「.」(ピリオド)が入ります(すべて半角)。入力されたアドレスに問題があると、「次へ」ボタンをクリックしたあと警告の画面が出ます。入力をやり直してください。

例 133.205.63.129



1 **「常に使用する設定」の左にある○をクリックして◉に変える**

2 **「DNS　サーバー」と「別のDNS　サーバー」のアドレスを入力する**

3 **「次へ」ボタンをクリックする**

接続名を登録する

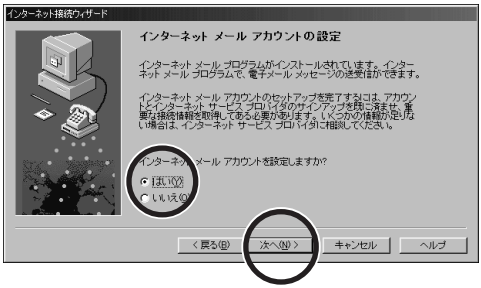
1 **「接続名」を入力する**

いま設定しているプロバイダ(接続先)に名前を付けます。分かりやすい名前を付けましょう。自動入力された「接続先-####-####」(####-####は電話番号)のままでもかまいません。

2 「次へ」ボタンをクリックする

電子メールの設定をする

1 「はい」の左にある○をクリックして◉に変える



2 「次へ」ボタンをクリックする

チェック!! 初めてインターネット接続の設定を行った場合には、手順 3の設定画面は表示されません。手順4に進んでください。

3 「新規のインターネット メール アカウントを作成する」の左の○をクリックして◉に変えて確認して「次へ」ボタンをクリックする

4 「表示名」を入力する

あなたの電子メールが宛先に届いたときに、表示される名前を考えて入力します。世界中に電子メールが送れるように、漢字・ひらがなは使わずにローマ字で入力するとよいでしょう。

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 「電子メールアドレス」を入力する

プロバイダから割り当てられた電子メールアドレスを入力します。

7 「次へ」ボタンをクリックする

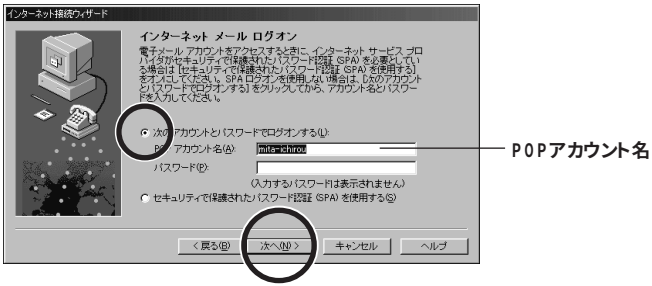
メールサーバーの登録

1 **「受信メールサーバーの種類」が「POP3」であることを確認する**

2 **「受信メールサーバー」を入力する**
プロバイダから指定された「受信メールサーバー」を入力します。

3 **「送信メールサーバー」を入力する**
プロバイダから指定された「送信メールサーバー」を入力します。

4 **「次へ」ボタンをクリックする**



5 **「次のアカウントとパスワードでログオンする」の左が◉になっていることを確認する**

6 **「POPアカウント名」を入力する**
電子メールアドレスの「@」より前の部分を入力します。

7 「次へ」ボタンをクリックする

安全のためパスワードは必要なときに、そのつど入力することにして、ここでは「パスワード」欄に入力しません。

インターネット メール アカウント名を入力する

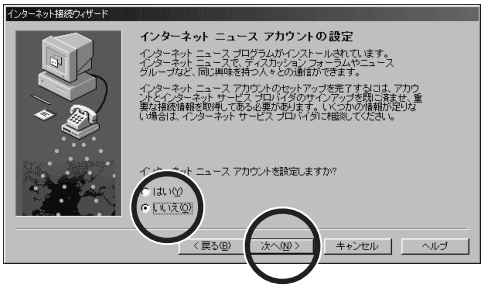
1 「インターネット メール アカウント名」を入力する

先ほど入力したメールサーバー名が自動的に表示されています。「インターネット メール アカウント名」はOutlook Expressでいくつもの電子メールアドレスを管理するためのものです。分かりやすい名前に変更したい場合は入力し直してください。

2 「次へ」ボタンをクリックする

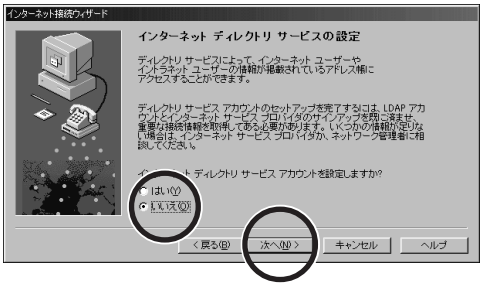
設定を完了する

1 「いいえ」の左の○をクリックして◉に変える



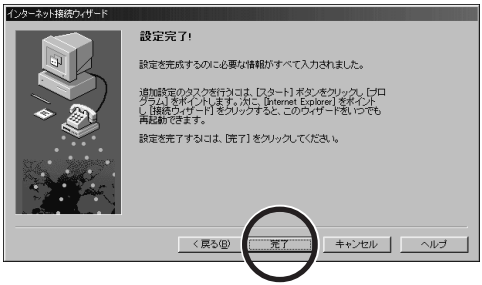
2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「いいえ」の左が◉になっていることを確認する



4 「次へ」ボタンをクリックする

5 「完了」ボタンをクリックする



これでインターネットへ接続するための設定が完了しました。設定が完了するとインターネット接続ウィザードは終了します。

◎ 設定してもインターネットに接続できないときは

インターネット接続ウィザードを使って設定を完了してもインターネットに接続できなかった場合は、入力した内容に誤りがあることが考えられます。次の手順で、内容に誤りがないかもう一度よく確認してください。それでも誤りが見つからない場合は、添付の『困ったときのQ&A』をご覧ください。

参照 **設定内容は正しいのに接続できない場合→『困ったときのQ&A』PART1の「インターネットしようとしたら」**

1 「セットアップを開始する」(p.108)の手順1～5を行う

2 「既存のダイヤルアップ接続を行う」の左の○をクリックして◉に変える
現在登録されている「接続名」がすべて表示されます。

3 「接続名を登録する」(p.114)の手順で入力した「接続名」を選んで、クリックする

4 「次へ」をクリックする

5 「この接続の設定を変更しますか?」という画面が表示されるので、「はい」の左の○をクリックして◉に変える

6 「次へ」をクリックする
以降は、「アクセスポイントの電話番号を登録する」(p.110)からもう一度やり直してください。それぞれの入力欄に、先ほど入力した内容があらかじめ表示されるので、誤りがないかよく確認してください。

PART

7

外出先でインターネットを使う

外出先でも、電話回線を使ってインターネットへ接続し、ホームページを見たり電子メールの送受信をしたりすることができます。

このPARTの内容

外出時に必要な設定
新しい発信元を設定する
違うアクセスポイントを設定する
発信元を変更する
アクセスポイントを変更する
外出先で電話回線につなぐ

外出時に必要な設定

このパソコンを外出先でインターネットにつなぐための設定や設定の変更について説明します。ここでは、あらかじめ外出先の電話回線やアクセスポイントなどの情報を設定しておく方法と、外出時などにどの設定を使うかを選ぶ方法を説明します。

外出時の設定を済ませていない場合

◎ 初めての外出先で電話回線に接続するとき

今までとは別の電話回線に接続するので、発信元のダイヤル方法や市外局番の設定の追加をします。次項の「新しい発信元を設定する」をご覧になり、発信元の設定を追加してください。

◎ 違うアクセスポイントに初めてつなぐ場合

外出先では近くのアクセスポイントを使えば電話料金を節約することができます。p.125の「違うアクセスポイントを設定する」をご覧になり、設定を追加してください。

すでに外出時の設定を済ませている場合

◎ 外出先で電話回線に接続するとき

外出先でインターネットにつなぐためには、あらかじめp.123「新しい発信元を設定する」の項で発信元を設定しておく必要があります。あらかじめ設定されている中から選んで発信元を変更します。p.133「発信元を変更する」をご覧になり、設定の変更をしてください。
さらに違うアクセスポイントに接続する場合には、あらかじめp.125「違うアクセスポイントを設定する」で接続先を設定しておく必要があります。p.135「アクセスポイントを変更する」をご覧になり、設定の変更をしてください。

◎ 外出先から自宅に戻った場合

p.133「発信元を変更する」をご覧になり、設定の変更をしてください。違うアクセスポイントを使った場合には、p.135「アクセスポイントを変更する」をご覧になり、設定の変更をしてください。

新しい発信元を設定する

外出先では接続する電話回線が変わるので、必ず発信元のダイヤル方法や市外局番の設定の追加をします。

発信元の設定

発信元の電話回線について設定を追加します。

チェック!! 電話回線には、「トーン」（プッシュ回線）と「パルス」（ダイヤル回線）があります。使用する電話回線の種別を、あらかじめ確認しておいてください。なお、電話機がプッシュボタン式でも回線がプッシュ（トーン）とは限りませんのでご注意ください。
ダイヤル方法がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

◆ 確認の方法

- NTTの電話料金の請求書／領収書に「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーン」、なければ「パルス」です。
- 電話機の受話器をあげて、ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がすれば「トーン」です。

1 「スタート」ボタン→「設定」の「コントロールパネル」をクリックする

2 「テレフォニー」アイコンをダブルクリックする

3 「新規」ボタンをクリックする

「登録名」欄に「新しい場所」と表示され、「新しい場所が作成されました。」というメッセージが表示されます。

4 「登録名」欄に表示された「新しい場所」に、新しい所在地を入力する

漢字で都市名などを入力しておくと分かりやすいでしょう。

5 「市外局番」を入力し、「ダイヤル方法」を選ぶ

あらかじめ確認しておいたダイヤル方法を「トーン」または「パルス」から選びます。

6 「OK」ボタンをクリックする

チェック!! 公衆電話のダイヤル方法は「トーン」です。

7 「コントロールパネル」を閉じる

違うアクセスポイントを設定する

現在利用中のプロバイダであっても、別のアクセスポイントへ接続する場合は、設定が必要です。

新しい接続先の設定

同じプロバイダの同じアクセスポイントへ接続する場合は、設定の必要はありませんが、別のアクセスポイントへ接続する場合には設定が必要です。外出先でインターネットを使用する場合などに、より近いアクセスポイントに接続すると電話料金を節約できます。

チェック!! ここでの説明はすでにインターネット接続の設定が終わっていることを前提としています。

◎ インターネット接続ウィザードを起動する

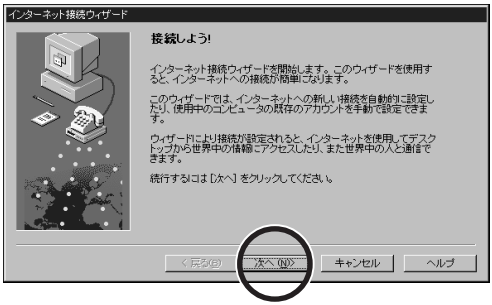
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「接続ウィザード」をクリックする

これでインターネット接続ウィザードが起動します。接続先の電話番号などの情報を入力していきます。

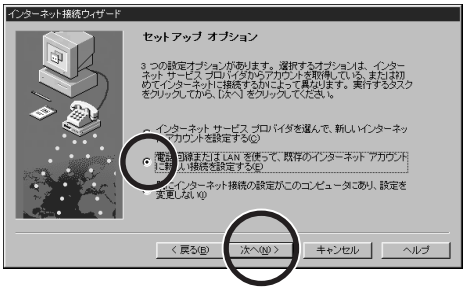
◎ セットアップを開始する

チェック!! インターネット接続ウィザードは現在使用中の設定がすべて自動入力されます。p.127の「電話番号」とp.130の「接続名」を変更してください。

1 「次へ」ボタンをクリックする

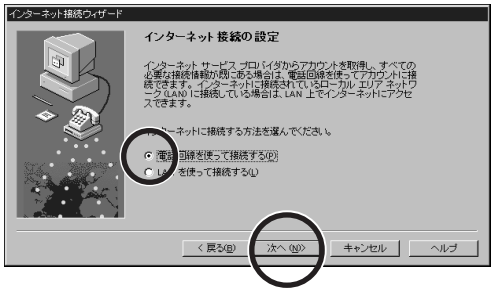


2 「電話回線またはLANを使って、既存のインターネット アカウントに新しい接続を設定する」の○をクリックして◉に変える



3 「次へ」ボタンをクリックする

4 「電話回線を使って接続する」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする



5 「新規にダイヤルアップ接続を行う」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

◎ 接続先の電話番号の設定

プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先)を入力します。

1 **新しいアクセスポイントの電話番号の「市外局番」を先頭の0を除いて入力する**

2 **新しいアクセスポイントの「電話番号」を市外局番を除いて入力する**

3 **▼をクリックして「国名と国番号」から「日本(81)」を選ぶ**

4 **「次へ」ボタンをクリックする**

これでプロバイダのアクセスポイントの電話番号が設定できました。

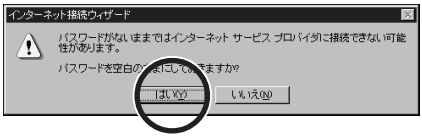
5 **ユーザー名を入力する(パスワードは入力しない)**

安全のため、パスワードは接続のたびに入力することにして、ここでは入力しません。

6 「次へ」ボタンをクリックする

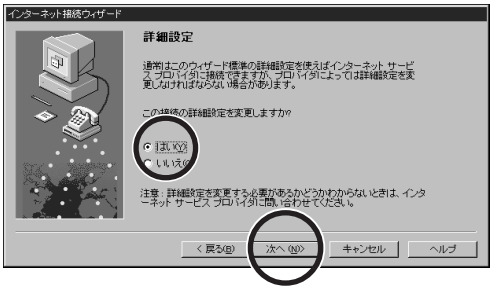
「パスワードがないままではインターネット サービス プロバイダに接続できない可能性があります。パスワードを空白のままにしておきますか?」という画面が出ます。

7 「はい」ボタンをクリックする



◎ プロバイダへの接続条件を確認する

1 「はい」の○をクリックして◉に変える

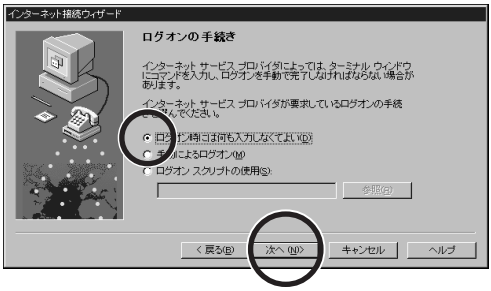


2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「PPP」の◉を確認して「次へ」をクリックする

4 「ログオン時には何も入力しなくてよい」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

BIGLOBEやほとんどのプロバイダは「ログオン時に何もしない」に設定します。もしインターネットに接続できない場合には、プロバイダに確認してください。

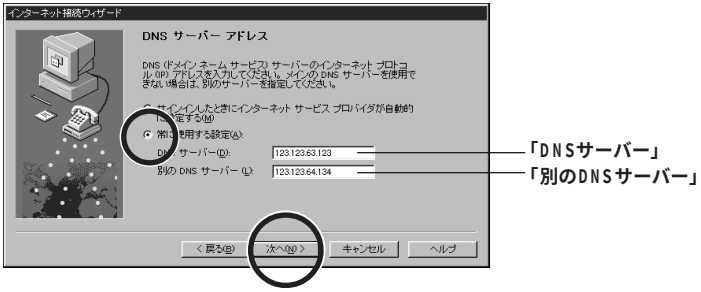


5 「インターネット サービス プロバイダが自動的に割り当てる」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

◎ DNSサーバーのアドレスを入力する

プロバイダから指定された「DNS サーバー」と「別のDNS サーバー」のアドレスを入力します。アドレスは0.0.0.0から255.255.255.255までの数で、各ブロックの間には「.」(ピリオド)が入ります(すべて半角)。入力されたアドレスに問題があると、「次へ」ボタンをクリックしたあと警告の画面が出ます。入力をやり直してください。

例 133.205.63.129



1 「常に使用する設定」の○をクリックして◉に変える

2 「DNS サーバー」と「別のDNS サーバー」のアドレスを入力する

3 「次へ」ボタンをクリックする

◎ 新しい接続名を入力する

新しく設定しようとしているアクセスポイント(接続先)に名前をつけます。分かりやすい名前を付けましょう。自動入力された「接続先 - #### - ####」(#### - ####は電話番号)のままでもかまいません。

1 「接続名」を入力する

2 「次へ」ボタンをクリックする

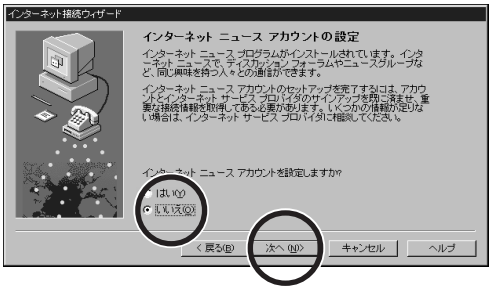
◎ 設定を完了する

1 「いいえ」の左が◉になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

ここでは、電子メールの設定は行いませんから、「いいえ」を選びます。

2 「いいえ」の○をクリックして◉に変える

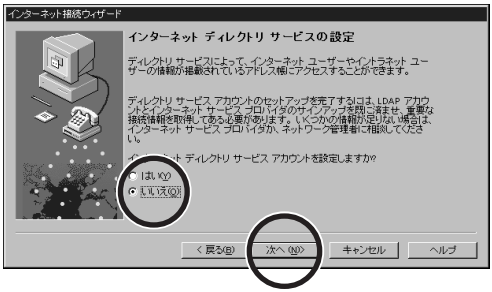
ここでは、ニュースの設定は行いませんから、「いいえ」を選びます。



3 「次へ」ボタンをクリックする

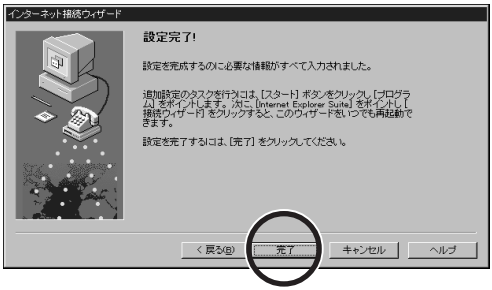
4 「いいえ」の左が◉になっていることを確認する

ここでは、ディレクトリサービスの設定は行いませんから、「いいえ」を選びます。



5 「次へ」ボタンをクリックする

6 「完了」ボタンをクリックする



これでインターネット接続設定が完了しました。設定が完了するとインターネット接続ウィザードは終了します。

発信元を変更する

外出先で電話回線に接続したり、外出先から自宅に戻ったときなどには接続する電話回線が変わるので、発信元の変更が必要です。このPARTの最初の「新しい発信元を設定する」であらかじめ登録しておいた発信元の中から選んで、発信元を変更します。

発信元の変更

あらかじめ登録しておいた発信元をリストから選んで、変更します。

1 **「スタート」ボタン→「設定」の「コントロールパネル」をクリックする**

2 **「テレフォニー」アイコンをダブルクリックする**

3 「登録名」の▼をクリックして表示されたリストから現在の所在地（パソコンを電話回線に接続する場所）を選ぶ

4 「OK」ボタンをクリックする

チェック!! 公衆電話のダイヤル方法は「トーン」です。

5 「コントロールパネル」を閉じる

アクセスポイントを変更する

現在利用中のアクセスポイントから別のアクセスポイントへ接続先を変更する場合は、設定の変更が必要です。

インターネットエクスプローラの接続先を変更する

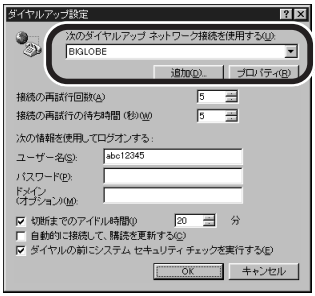
インターネットエクスプローラ使用時のアクセスポイントを変更する場合の設定方法を説明します。

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「インターネット」アイコンをダブルクリックする**

2 **「接続」タブをクリックする**

3 「モデムを使用してインターネットに接続」の左が◉になっていることを確認して、「設定」ボタンをクリックする

4 「次のダイヤルアップネットワーク接続を使用する」の▼をクリックして表示されたリストからアクセスポイントを選ぶ



5 アクセスポイントを確認して、「OK」ボタンをクリックする

6 「OK」ボタンをクリックする

Outlook Expressの接続先を変更する

Outlook Expressは「インターネットメールアカウント名」とともにアクセスポイントを管理しています。アクセスポイントを変更する場合の設定の変更方法を説明します。

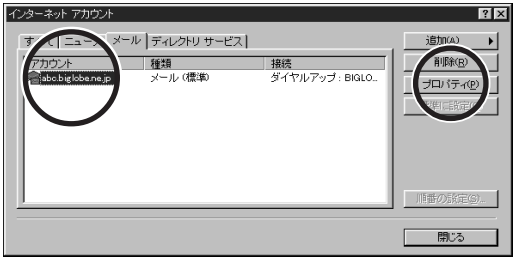
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express 」をクリックする

Outlook Express が起動します。

2 「ツール」メニューの「アカウント」をクリックする

3 「メール」タブをクリックする

4 「インターネット メール アカウント名」を選び「プロパティ」ボタンをクリックする

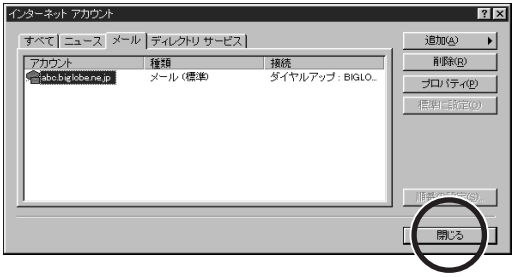


5 「接続」タブをクリックする

6 「次のダイヤルアップ接続を使用する」の▼をクリックして表示されたリストからアクセスポイントを選ぶ

7 アクセスポイントを確認し、「OK」ボタンをクリックする

8 「閉じる」ボタンをクリックする



これで、「Outlook Express」の接続先が変更されました。

外出先で電話回線につなぐ

本機は、外出先でも家庭用の電話回線（NTTでは一般公衆回線と呼んでいます）と接続できます。また、ホテルのビジネスルームなどでは、パソコンを接続できるように設備が整っていることもあります。接続可能かどうか、そのホテルなどに問い合わせてください。

外出先の家庭用電話回線でインターネット

PART 2の「電話回線との接続」（p.12）をご覧ください。パソコン本体と壁のモジュラーコネクタにモジュラーケーブルを接続する前にパソコンの電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。プリンタなどの周辺機器をつないでいる場合、すべての周辺機器のACプラグとACアダプタをコンセントから抜いてください。

⚠警告

●雷が鳴り出したら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

⚠注意

●モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

チェック!! ダイヤル方法は接続する電話回線に合わせて設定します。

参照 外出時に必要な設定と設定の変更→「外出時に必要な設定」（p.122）

◎ ホテルのビジネスルームで

ホテルによっては、ビジネスルームなどを用意してパソコンを接続できるように設備が整っていることがあります。
設備が利用可能かどうか、事前に利用するホテルなどに問い合わせておくとよいでしょう。

◎ 公衆電話を使う

公衆電話の種類によっては、モジュラーコネクタを備えているものがあります。公衆電話の「アナログ」と書かれたモジュラーコネクタにモジュラーケーブルを接続することで、インターネットすることができます。なお、この場合ダイヤル方法はトーンに設定します。

PART

8

TELFAX-NX

ここでは、このパソコンでFAXの送受信をするTELFAX-NXというソフトの説明をします。TELFAX-NXは電話として使うこともできます。

このPARTの内容

電話やFAXができる
電話として使う
FAXの送受信をテストする
FAXとして使う
FAX情報サービスを利用する
TELFAX-NXご利用上の注意

電話やFAXができる

このパソコンに入っている「TELFAX-NX」というソフトを使うと、電話をかけたりFAXしたりすることができます。外出先でも、電話回線を使うことができればFAXの送受信ができます。

チェック!! **FAXや電話としてこのパソコンを使うには電話回線と接続してください。**

参照 パソコンと電話回線との接続→PART 2の「電話回線との接続」(p.12)

TELFAX-NXを起動する

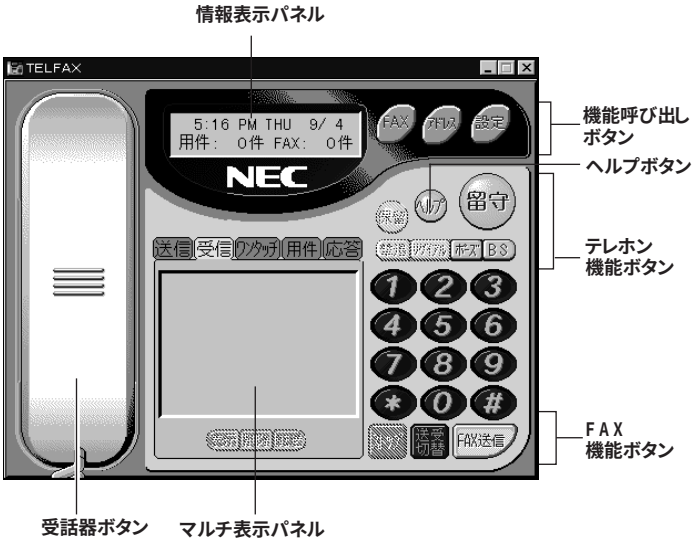
1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「TELFAX-NX」の「TELFAX-NX」をクリックする**

モデルにより多少画面が異なります。

チェック!! **FAXの受信や留守番電話をするためには、TELFAX-NXが起動している必要があります。他の作業を行うときに、TELFAX-NXの画面が邪魔な場合でも、TELFAX-NXを終了せずに、_(最小化)ボタンをクリックしてください。**

TELFAX-NXを終了するときには、×(閉じる)ボタンをクリックします。

TELFAX-NXの画面が表示されます。



◎ TELFAX-NXの画面

画面の各部の名称と役割について簡単に説明します。

情報表示パネル	電話やFAXの動作状況を表示します。
機能呼び出しボタン	設定、FAX管理、アドレス帳を呼び出します。
テレホン機能ボタン	電話機能のボタンです。
FAX機能ボタン	FAX機能のボタンです。
マルチ表示パネル	FAXの記録、留守番電話のメッセージ、ワンタッチダイヤルの表示などができます。
受話器ボタン	電話をかけるときに使います。
ヘルプボタン	オンラインヘルプを表示します。

TELFAX-NXの設定

はじめに電話回線の種別を設定します。

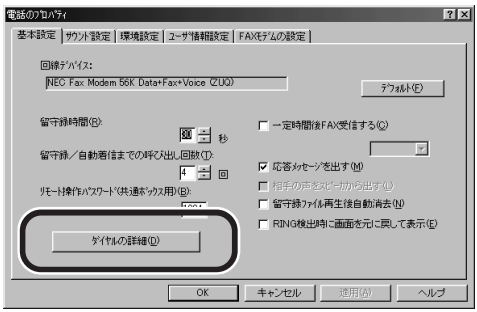
チェック!! 電話回線には、「トーン」(プッシュ回線)と「パルス」(ダイヤル回線)があります。使用する電話回線の種別を、あらかじめ確認しておいてください。なお、電話機がプッシュボタン式でも回線がプッシュ(トーン)とは限りませんのでご注意ください。
ダイヤル方法がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

◆ 確認の方法

- NTTの電話料金の請求書／領収書に「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーン」、なければ「パルス」です。
- 電話機の受話器をあげて、ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がすれば「トーン」です。

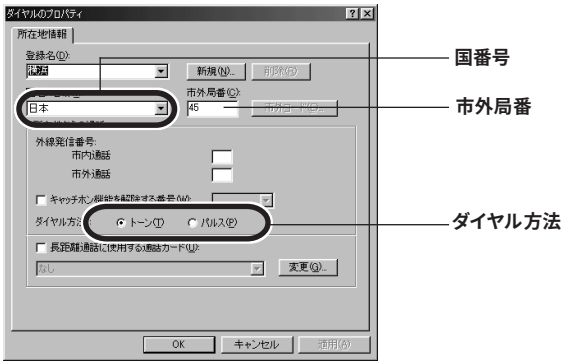
1 「設定」ボタンをクリックする

2 「ダイヤルの詳細」ボタンをクリックする



3 「ダイヤル方法」を設定する

使用する電話回線の種別に合わせて、「トーン」または「パルス」の設定を確認します。



4 設定が終わったら「OK」ボタンをクリックする

電話として使う

TELFAX-NXで電話をしてみましょう。簡単に留守番電話やハンズフリーの通話ができます。

ハンズフリーで通話する

TELFAX-NXで電話をするにはハンズフリー通話機能を使います。

◎ 電話をかける

1 「受話器」ボタンをクリックする

受話器の表示が変わります。

チェック!! パソコンの音量調節つまみでスピーカの音量が調節できます。このつまみが最小の位置になっているとスピーカから音が出ません。

参照 音量調節つまみ→『活用ガイド』PART1の「各部の名称」

2 ダイヤルする

ダイヤルした番号が情報表示パネルに表示されます。「FAX送信」ボタンが「ダイヤル」ボタンに変わります。

3 「ダイヤル」ボタンをクリックする

TELFAX-NXは「ダイヤル」ボタンをクリックするまで実際にはダイヤルしません。「ダイヤル」ボタンをクリックしたときにまとめてダイヤルします。

電話がつながり、内蔵マイクとスピーカで通話することができます。受話器ボタンにある音量の調節バーをドラッグすると、マイクとスピーカの音量が調節できます。

アドレス帳に登録してある電話番号を選んで、ダイヤルすることができます。アドレス帳の使い方はヘルプボタンをクリックしてオンラインヘルプをご覧ください。

◎ 電話を切る

1 **(切断)ボタンをクリックして電話を切る**

留守番電話として使う

◎ 留守録モードにセットする

1 **「留守」ボタンをクリックする**

電話がかかってくるとTELFAX-NXが自動的に応答して相手にメッセージを伝えます。FAXからの送信であれば自動的にFAX受信を開始します。留守録中は情報表示パネルに状態が表示されます。
留守録が終わるとマルチ表示パネルに表示されます。

応答メッセージはあらかじめ録音されたものがセットされています。オリジナルの応答メッセージを録音したり、いたずら電話撃退メッセージを流したりすることができます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

◎ 留守中のメッセージを聞く

1 **マルチ表示パネルの「用件」タブをクリックする**
まだ聞いていないメッセージは「未聞」と表示されます。

2 **「未聞」のリストをダブルクリックする**
録音されたメッセージが再生されます。

◎ 留守番電話を解除する

1 **「留守」ボタンをクリックする**
もう一度「留守」ボタンをクリックすると留守番電話は解除されます。

チェック!! **FAXの受信や留守番電話をするためには、TELFAX-NXが起動している必要があります。他の作業を行うときに、TELFAX-NXの画面が邪魔な場合でも、TELFAX-NXを終了せずに、_（最小化）ボタンをクリックしてください。**

チェック!! **TELFAX-NXは、留守録モードで終了すると、次にこのパソコンを起動したときに自動的に留守録モードで起動するように設定されます。**

FAXの送受信をテストする

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」でFAXの送受信がテストできます。「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを送信し、うまく届けば折り返し「NECパソコンFAXテスト交信サービス」からFAXが届きます。なお、このテストを行う前に、TELFAX-NXで電話が正しくかけられることを必ず確認してください。

チェック!! 本サービスは「TELFAX-NX」に対応しています。他のFAXアプリケーションからは利用できません。

テストの準備をする

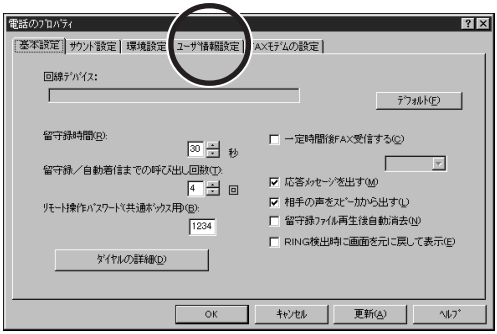
「NECパソコンFAXテスト交信サービス」へ送信するFAX文書の作成と、送り返されるFAXを受信するための準備をします。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「TELFAX-NX」の「TELFAX-NX」をクリックする

2 「設定」ボタンをクリックする

「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「ユーザ情報設定」タブをクリックする



4 ユーザ情報(送信するFAXの内容)を入力する

「ユーザ名」	あなたの名前
「住所(1行目)」	あなたの住所(省略できます)
「住所(2行目)」	あなたの住所(省略できます)
「電話番号」	あなたの電話番号(FAXモデムの電話番号と同じ場合は省略できます)
「FAXモデムの電話番号」	このパソコンを接続した電話回線の番号

これは一例です。あなたの名前・住所などを入力してください。

チェック!! **「FAXモデムの電話番号」は「NECパソコンFAXテスト交信サービス」から折り返しのFAXを受け取るための情報なので、市外局番から半角の数字と「-」(ハイフン)で正確に入力されていることを確認してください。**

5 「OK」ボタンをクリックする

「電話のプロパティ」ウィンドウが閉じ、「TELFAX-NX」ウィンドウが表示されます。

これでTELFAX-NXのユーザ情報設定は終わりです。

留守録モード(FAX自動受信)にセットする

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」からのFAXを自動受信するために留守録モードに設定します。TELFAX-NXは留守録モードのときにFAXを自動受信します。

1 「留守」ボタンをクリックする

「留守」ボタンが赤色に点灯して、留守録モードになります。

チェック!! **FAXの受信をするためには、TELFAX-NXが起動している必要があります。他の作業を行うときに、TELFAX-NXが邪魔な場合でも、TELFAX-NXを終了せずに_(最小化)ボタンをクリックしてください。**

テストを始める

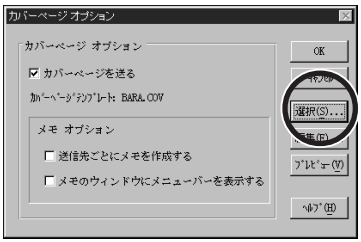
「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを送信します。

1 「アドレス」ボタンをクリックする

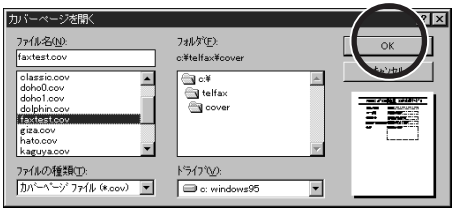
2 「NECパソコンFAXテスト交信サービス」をクリックし、反転表示になったのを確認して、「ダイヤル」ボタンをクリックする

3 「カバー」ボタンをクリックする

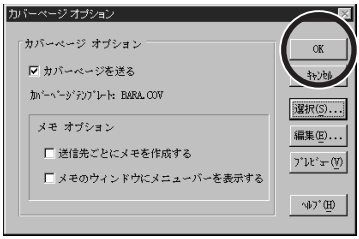
4 「選択」ボタンをクリックする



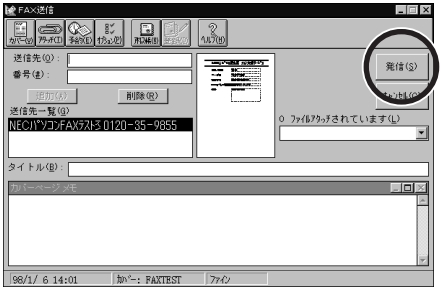
5 「ファイル名」から「faxtest.cov」を選んでクリックしたあと、「OK」ボタンをクリックする



6 「カバーページオプション」の「OK」ボタンをクリックする



7 「発信」ボタンをクリックする



送信が始まります。

8 「アドレス帳」ウィンドウの右上の×（閉じる）ボタンをクリックする

「アドレス帳」が終了します。

送信を確認する

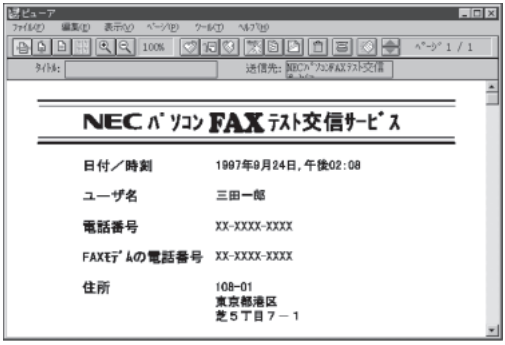
正常に送信できたか確認します。

1 マルチ表示パネルの「送信」タブをクリックする

マルチ表示パネルの一番上に送信結果が表示されています。「済み」の場合は、うまく送信できています。

2 マルチ表示パネルのリストの「済み」をダブルクリックする

「ビューア」ウィンドウが表示され、送信した次のようなFAXが表示されます。



3 ×(閉じる)ボタンをクリックする

確認したら「ビューア」ウィンドウを閉じます。

返信のFAXを受信する

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXが正常に送信できると、通常10分以内に折り返し「NECパソコンFAXテスト交信サービス」からFAXが届きます（返信までの時間は、そのときの「NECパソコンFAXテスト交信サービス」の混み具合によって多少異なります）。
また、「NECパソコンFAXテスト交信サービス」では、このパソコンを接続した電話回線が通話中などでつながらない場合は、数分後にFAXを再送します（2回まで）。
ここでは、TELFAX-NXは留守録モードに設定されているので、FAXを自動的に受信します。

チェック!! FAXの受信をするためには、TELFAX-NXが起動している必要があります。他の作業を行うときに、TELFAX-NXが邪魔な場合でも、TELFAX-NXを終了せずに（最小化）ボタンをクリックしてください。

受信を確認する

FAXの自動受信が完了すると、次のような画面が表示されます。

1 「OK」ボタンをクリックする

2 マルチ表示パネルの「受信」タブをクリックする

マルチ表示パネルの一番上に受信結果が表示されます。「未読」の場合は、うまく受信できています。

3 マルチ表示パネルのリストの「未読」の欄をダブルクリックする

「ビューア」ウィンドウが表示され、自動受信したFAXが表示されます。

4 ×(閉じる)ボタンをクリックする

「ビューア」ウィンドウが閉じます。

留守録モード(FAX自動受信)を解除する

FAXの受信ができたら、留守録モードを解除します。

1 「留守」ボタンをクリックする

「留守」ボタンが消灯して、留守録モードは解除されます。

チェック!! TELFAX-NXは、留守録モードで終了すると、次にこのパソコンを起動したときに自動的に留守録モードで起動するように設定されます。

◎ テストがうまくいかないとき

テストがうまくいかなかったときには、状況に応じて次の手順に従ってください。

◆ 送信が「異常」になったとき

1 マルチ表示パネルの「異常」をダブルクリックする

「詳細情報」ウィンドウが表示されます。

「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

◆ 送信はうまくいったがFAXが届かない場合

送信が「済み」になってから10分程度たってもFAXが届かない場合は、p.151の「テストの準備をする」を参照して次の項目を確認してから、もう一度テストをやり直してください。

1 「FAXモデムの電話番号」を間違えていないか確認する

2 「TELFAX-NX」が留守録モードになっているか確認する

◆ 受信が「異常」になったとき

1 マルチ表示パネルの「異常」をダブルクリックする

「詳細情報」ウィンドウが表示されます。

「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

FAXとして使う

FAXを送ったり受け取ったりしてみましょう。TELFAX-NXの発信元の情報（ユーザ情報）設定を確認したら、FAXの送信と受信をしてみましょう。

FAXを送る準備をする

TELFAX-NXは、作成済みのワープロの文書などに発信元やメモを記入したカバーページを自動作成して添付することができます。カバーページは、FAXの送付票のようなものです。まず、カバーページを使うための準備をしましょう。TELFAX-NXからFAXを送信したとき、カバーページに使われるあなたの名前や電話番号を設定する必要があります。

p.151の「テストの準備をする」の手順にしたがって「NECパソコンFAXテスト交信サービス」でFAXの送受信のテストを行った場合はすでに設定されています。「NECパソコンFAXテスト交信サービス」を行っていない場合はp.151の「テストの準備をする」の手順にしたがって設定を行ってください。この設定を行わないと、TELFAX-NXからFAXを送信したとき、カバーページにあなたの名前や電話番号が表記されません。

TELFAX-NXでFAXを送る

カバーページの発信元の情報（ユーザ情報）設定を確認したら、FAXの送信をしてみましょう。

1 「FAX送信」ボタンを押す

2 送信先を入力する

送り先の名前と電話番号を入力します。

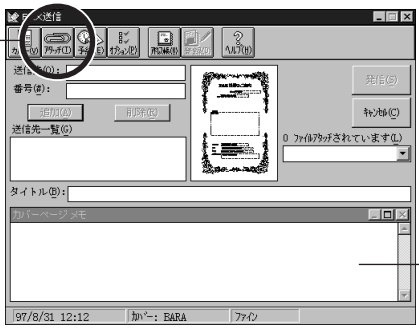
3 カバーページを選ぶ

「カバー」ボタンをクリックすると絵柄の違うカバーページに変更できます。また、オリジナルのカバーページを作成することもできます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

4 タイトルを入力する

5 カバーページメモを書く

カバーページのメモ欄の内容を書きます。

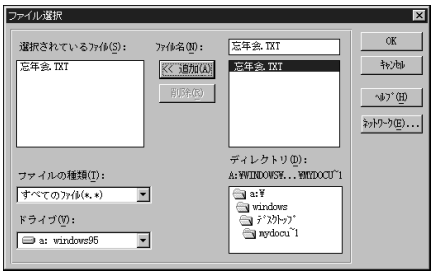


6 アタッチボタンをクリックする

作成済みの書類を送る場合には、アタッチボタンをクリックします。カバーページだけを送る場合には、この操作は必要ありません。

7 添付書類を選ぶ

選ぶ方法はオンラインヘルプをご覧ください。



8 「発信」ボタンをクリックする

送信中は情報表示パネルに状態が表示されます。
送信が終了すると、マルチ表示パネルに送信ログが表示されます。

送信先は、アドレス帳に登録してあるものから選ぶことができます。アドレス帳の使い方はオンラインヘルプをご覧ください。

TELFAX-NXでFAXを受信する

◎ FAXを手動受信する

1 電話がかかってきたら「受話器」ボタンをクリックする

受話器の表示が変わり、音量の調節バーが表示されます。「ツー」という音がスピーカから出ます。ドラッグしてマイクとスピーカの音量が調節できます。

チェック!! **本体の音量調節つまみでスピーカの音量が調節できます。このつまみが最小の位置になっているとスピーカから音が出ません。**

参照 **音量調節つまみ→『活用ガイド』PART1の「各部の名称」**

2 「送受切替」ボタンをクリックして受信モードにして「FAX受信」ボタンをクリックする

受信モードになると「FAX送信」ボタンは「FAX受信」ボタンに変わります。

送受切替ボタン

FAX送信ボタン
（FAX受信ボタン）

受信中は情報表示パネルに状態が表示されます。受信が終了すると自動的に電話が切れます。

3 マルチ情報パネルのリストの「未読」をダブルクリックする

受信したFAXの情報が表示されていない場合には、「受信」タブをクリックしてください。

4 ×(閉じる)ボタンをクリックする

読んだら「ビューア」ウィンドウを閉じます。

◎ FAXを自動受信する

留守録モードに設定しておきます。TELFAX-NXは、FAXからの通信であれば自動的にFAX受信を行います。

FAX情報サービスを利用する

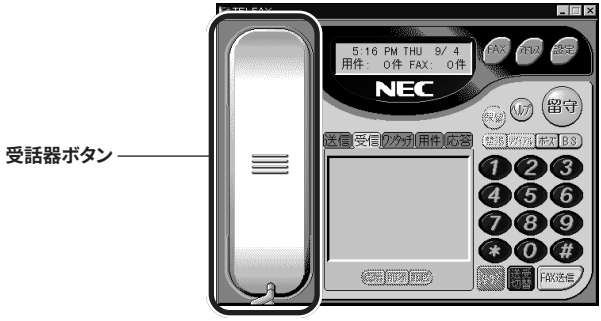
TELFAX-NXでFAX情報サービスを利用することができます。集めた情報はこのパソコンに保存しておくことができます。

情報を取り出す

FAX情報サービスに電話をかけて、音声ガイドにしたがって取り出す情報を指定する手順を説明します。

1 「受話器」ボタンをクリックする

受話器の表示が変わり、音量の調節バーが表示されます。「ツー」という音がスピーカから出ます。ドラッグするとマイクとスピーカの音量が調節できます。



チェック!! 本機の音量調節のつまみでスピーカの音量が調節できます。このつまみが最小の位置になっているとスピーカから音が出ません。

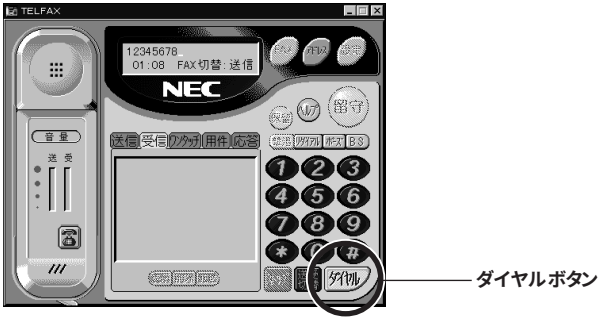
参照 **音量調節つまみ→『活用ガイド』PART1の「各部の名称」**

2 ダイヤルする

ダイヤルした番号が情報表示パネルに表示されます。「FAX送信」ボタンが「ダイヤル」ボタンに変わります。

3 「ダイヤル」ボタンをクリックする

TELFAX-NXは「ダイヤル」ボタンをクリックするまで実際にはダイヤルしません。「ダイヤル」ボタンをクリックしたときにまとめてダイヤルします。



4 取り出す情報を指定する

電話がつながったら、FAX情報サービスの音声による指示にしたがって操作します。

チェック!! TELFAX-NXは「ダイヤル」ボタンをクリックするまで実際には番号を相手に送りません。音声の指示に従って番号を押したら、最後に必ず「ダイヤル」ボタンをクリックします。例えば「2シャープを押してください」という場合は、「2」、「#」、「ダイヤル」ボタンの順にクリックします。

チェック!! パルス（ダイヤル回線）に本機を接続しているときには番号を入力する前に「*」ボタンをクリックしてください。トーン（プッシュ回線）に一時的に切り替えることができます。一度「*」ボタンをクリックすればその通話が終わるまでトーンモードが維持されます。例えば「2シャープを押してください」という場合は、「*」、「2」、「#」、「ダイヤル」ボタンの順にクリックします。

5 “スタートボタンを押してください”という指示があったら「送受切替」ボタンをクリックして受信モードにして「FAX受信」ボタンをクリックする

受信モードになると「FAX送信」ボタンは「FAX受信」ボタンに変わります。

受信中は情報表示パネルに状態が表示されます。受信が終了すると自動的に電話が切れます。

6 マルチ情報パネルのリストの「未読」をダブルクリックする

受信したFAXの情報が表示されていない場合には、マルチ情報パネルの「受信」タブをクリックしてください。

7 ×(閉じる)ボタンをクリックする

読んだら「ビューア」ウィンドウを閉じます。

TELFAX-NXご利用上の注意

TELFAX-NXをご利用になる際の注意事項について説明します。

● TELFAX-NXを使用するには

TELFAX-NXを使用するにはTELFAX-NXを起動しておく必要があります。留守番電話、FAX自動受信機能を使用するときは留守録モードにする必要があります。留守録モードにした状態でシステムを終了すると、次回システム起動時にTELFAX-NXが自動的に起動します。なお、TELFAX-NXを使用するときはFAX自動受信を行うアプリケーションや留守番電話機能を行うアプリケーションおよびNetMeetingのような受信待ちをするアプリケーションを終了してください。

● 他のアプリケーションとの同時利用

他のアプリケーションを起動し、大容量または多数のファイルを一度に開いている場合(特にビットマップファイルの操作時)に、TELFAX-NXを動作させると、送信や受信が正常に行えないことがあります。このような状態を避けて使用してください。

● Windowsの通信ソフトの利用

BIGLOBE Walkerナビゲータなどの通信ソフトを使う場合は、TELFAX-NXを終了してから、通信ソフトを使用してください。

● Windowsの終了について

留守録中やFAX送受信中、また通話中など、電話回線を使用している最中には、液晶ディスプレイを閉じたり、Windowsを終了したりしないようにしてください。

また、FAX送信ログにFAX送信待ち状態ログが残っているときにWindowsを終了すると、再度Windowsを起動するまでFAX送信は行われません。

● ナンバーディスプレイについて

NTTの「ナンバーディスプレイ」(発信者番号表示サービス)には対応していません。

● FAX送受信ログについて

・TELFAX-NXのログ表示パネルに表示されているログエントリは、FAXマネージャ上の「送信」「受信」ログの内容です。FAXマネージャで「送信」「受信」ログの削除または名称変更を行うと、TELFAX -NXのログ表示パネルにログエントリを表示できなくなりますので、削除または名称変更は行わないようにしてください。誤って削除してしまったときは、削除する前と同じ名前でログを作成してください。

・TELFAX-NXの送受信ログに表示可能なログエントリ数は「送信」「受信」を併せて500件が最大となります。500件を超えたときは、不要なログエントリを削除するかフォルダに移動してください。

● エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプに一覧と対処方法が記載されています。

● FAX送受信時のエラー

FAX送受信中に回線異常などのエラーが発生したり、受信原稿の一部が欠けたりするときは、「FAXモデムの設定」で「最大送信速度」または「最大受信速度」の設定を低くしてから、もう一度送受信し直してください。

● サウンドドライバの同時使用について

他のアプリケーションがWAVEファイルを再生するためにサウンドドライバを使用中のときは、留守録/FAXの自動着信、メッセージの再生/録音を行うことはできません。

● 回線異常の発生

回線異常により送信を中断したとき、中断後、電話回線が使えるようになるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありませんので、しばらくお待ちください。

● キャッチホンサービス使用時の注意

キャッチホンサービスを使用している場合、FAX中に、通信相手以外から電話がかかってくる場合がありますが、このときのデータの保証はできません。

● アタッチメントファイル送信時の注意

・選んだファイルに関連するアプリケーションがない場合は、ファイルはアタッチされません。

・アタッチメントファイルをFAX送信する場合、そのファイルが関連付けられたソフトが起動していると、FAXが送信できなかったり、起動中のソフトが確認なしに終了することがあります。このような場合には、起動中のソフトの印刷機能を使用してFAX送信を行ってください。

● カバーページの使用

カバーページを使用するとき、文書の全ページ数や同報通信時の複数の宛先をカバーページに書き込むには、次のように操作してください。

① FAX送信画面の「オプション」メニューで「送信前にプレビューを行う」にチェックマークをつけて、「OK」ボタンをクリックする。

② 送信先や番号などを入力して、「発信」ボタンをクリックする。

③ 「FAX文章のプレビュー」ウィンドウで「プレビュー」を選択し、「ツール」メニューの「マークアップツールを表示」でページ数、宛先などを追記する。

索　引

索引

英数

BCC(ブラインドカーボンコピー) 99
BIGLOBE 17,30,33
BIGLOBE Walker 81
BIGLOBE 会員証 52,105
BIGLOBEサービス会員規約 47
BIGLOBEサインアップナビ 36
CC(カーボンコピー) 99
FAXを送る 161
HTML形式 90
ID情報 49
NECパソコンFAXテスト交信サービス 151
Outlook Express 86
TELFAX-NX 143
URL 23,67

あ行

アクセスポイント . 16,30,51,110,125,135
アドレス(URL) 67
インターネットアクセスマネージャ 79
インターネットエクスプローラ 60
インターネット接続ウィザード 108
インターネットチュータ 3
インターネット無料体験 14
お気に入り 65
オンラインサインアップ 36

か行

カバーページ 161
仮パスワード 55

さ行

ジェットサーファー 76
受信トレイ 95
進むボタン 21
正式なパスワード 55
セカンダリDNS 106

た行

チャット 23
中止ボタン 22
テキスト形式 90
電子掲示板 23
電子メール 86
電子メールアドレス 35,98,106
電話料金 7,70
電話をかける 148
トーン 12,34,104,123,146

な行

ネットサーフィン 63

は行

発信元 123,133
パスワード 55,91
パルス 12,34,104,123,146
ハンズフリー 148
プライマリDNS 106
ブラウザ 20,83
プロバイダ 6,30
プロバイダの利用料金 70
ホームページ 20,59
翻訳アダプタll CROSSROAD 72

ま行

マルチ表示パネル 145
メールアカウント 35,46,106
メールパスワード 93,106
モジュラーケーブル 12,140
戻るボタン 21

や行
ユーザID 55
ユーザ名 55
ら行
リンク 63
留守録モード 149

インターネットガイド

PC98-NX SERIES

LaVie NX

初版　1998年7月
NEC
P

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

808-883267-049-A